



2021年11月16日

各 位

会社名 株式会社くふうカンパニー
代表者名 取締役兼代表執行役 穂田 誉輝
(コード番号：4376 東証マザーズ)
問合せ先 取締役兼執行役 菅間 淳
(TEL. 03-6264-2323)

〈マザーズ〉投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時 2021年11月15日 15:30～

開催方法 対面による実開催及びオンラインによるライブ配信

開催場所 東京都品川区上大崎二丁目24番9号

ハイアス・アンド・カンパニー(株)4階セミナールーム

説明会資料名

株式会社くふうカンパニー 決算説明資料

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

※この書面（添付資料を含む）は、有価証券上場規程施行規則第427条に基づき、公衆縦覧に供されます。

以 上

株式会社くふうカンパニー 決算説明資料

- 株式会社ロコガイド 2022年9月期 第2四半期
- 旧株式会社くふうカンパニー 2021年9月期 通期
- ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 2021年9月期 通期

2021.11.12

くふうカンパニー

1. 事業概要及び2022年9月期の業績見通し

2. グループ3社の決算補足説明

- 株式会社ロコガイド 2022年9月期 第2四半期
- 旧株式会社くふうカンパニー^{*1} 2021年9月期 通期
- ハイアス・アンド・カンパニー株式会社 2021年9月期 通期^{*2}

^{*1}：2021年9月30日より「株式会社くふうカンパニー」から「株式会社くふう中間持株会社」へ商号変更（本資料では「旧株式会社くふうカンパニー」と表記）。

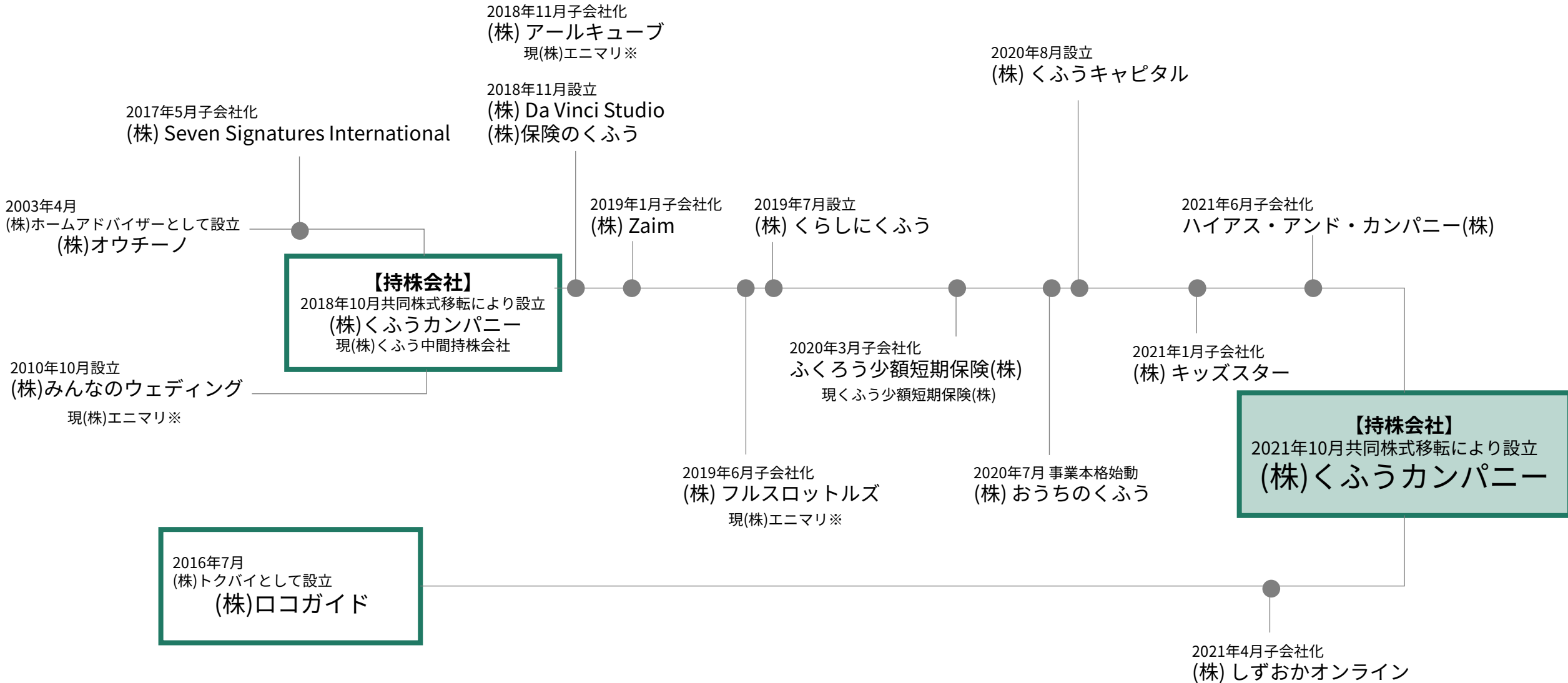
^{*2}：2021年9月期より決算期（事業年度の末日）を4月30日から9月30日に変更したことに伴い、5ヶ月間の変則決算。

1. 事業概要及び2022年9月期の業績見通し

会社概要

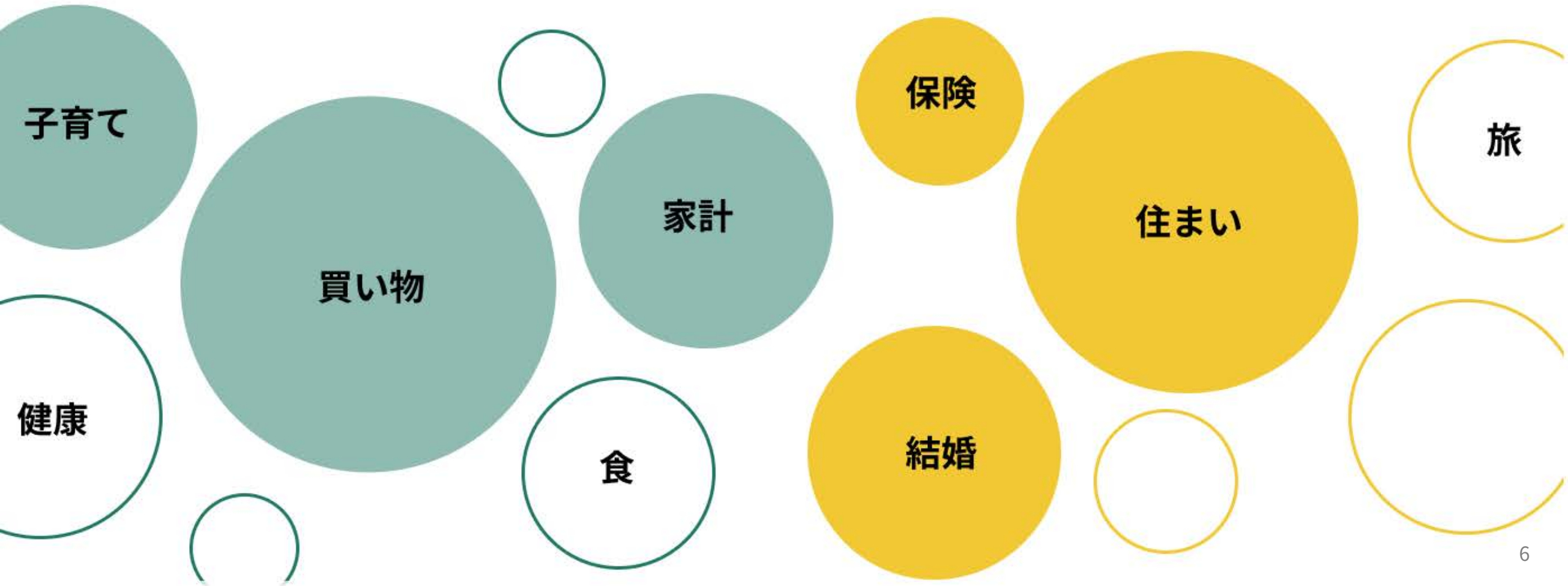
会社名	株式会社くふうカンパニー 英文社名：Kufu Company Inc.
代表者	代表執行役 穂田 誉輝
設立年月日	2021年10月1日 ※共同株式移転の方法により、株式会社ロゴガイドと株式会社くふう中間持株会社（旧 株式会社くふうカンパニー）の完全親会社として設立
本社所在地	東京都港区三田一丁目4番28号
資本金	10,000 千円
連結子会社	30社（2021年10月1日時点）
従業員数	527名（2021年10月1日時点 連結）

沿革



※ 2020年10月～2021年1月、結婚領域3社（(株)みんなのウェディング、(株)アールキューブ、(株)フルスロットルズ）を統合し、(株)エニマリに商号変更。

くふうで暮らしを、賢く、楽しく



企業価値 = ユーザー数 × 満足度

ユーザー課金ビジネス構築へ向けて

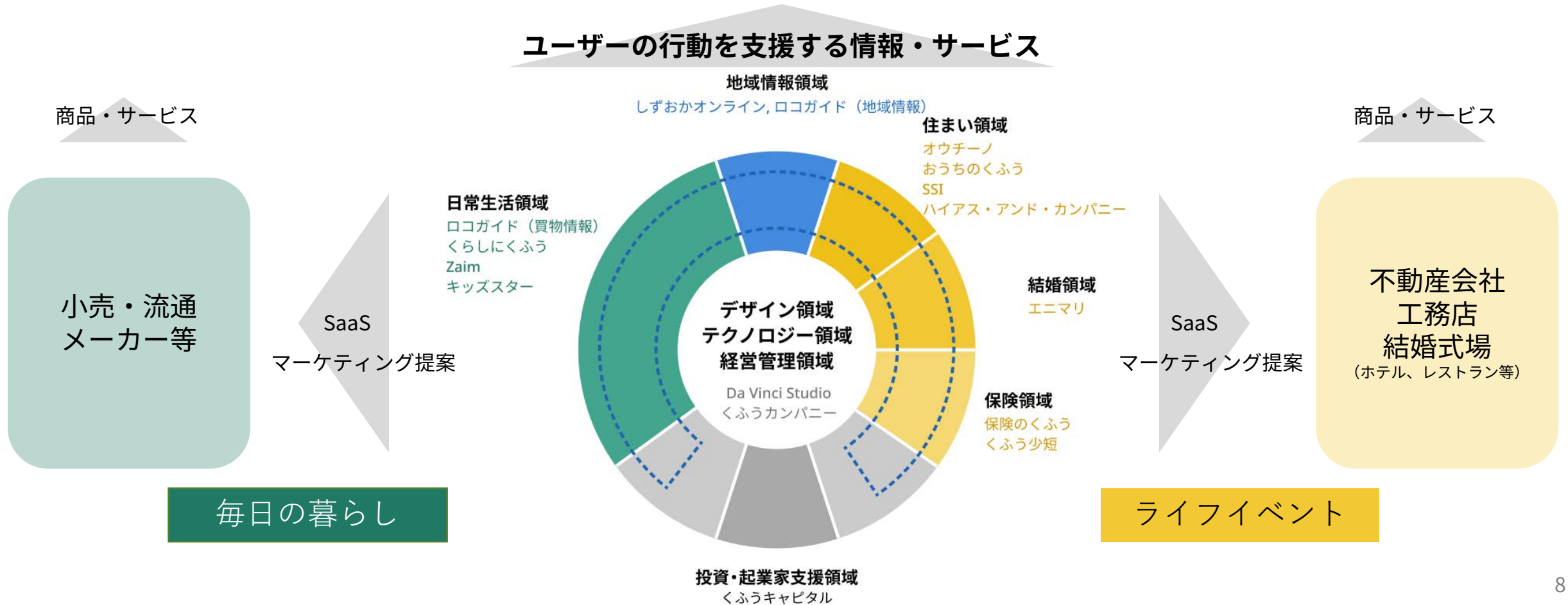
- ユーザー数増加のためのメディア強化・ジャンル追加
- ユーザー満足度向上のための専門性向上

グループの事業ポートフォリオとビジネスモデル

毎日の暮らしから、人生の転機となる大きなイベントまで網羅し、一人でも多くのユーザーに直接、及び事業者支援を通じて間接的に、少しでも多くの満足を提供する

あらゆる生活者（ユーザー）

ユーザーの行動を支援する情報・サービス



グループの事業基盤（2021年9月末時点）^{*1}

ユーザー

3つのユーザー接点により、ユーザーの行動を支援

Media



SaaS



Tool/Agent

ユーザー接点の最大化

事業者支援を通じたユーザーへの
間接的なサービス提供

毎日の暮らしに役立つツールと、
ライフイベントの専門サービスを提供

月間利用者数
約4,100万人^{*2}

契約アカウント数
約61,400^{*3}

ツール累計DL数
約2,200万^{*4}
年間相談件数
約1,400^{*5}

^{*1}：数値は2021年8月13日開示の「株式会社くふうカンパニーグループ事業方針説明資料」にて開示した内容から算出の定義を一部変更（それぞれの定義は以下^{*2}～^{*5}記載の通り）。

^{*2}：2021年9月末時点における日常生活領域、地域情報領域、住まい領域、結婚領域の主要メディア及びツール利用者数合計（ブラウザベースまたは端末ベース）。複数メディアまたはツール利用者の重複は考慮しない単純合算ベース。

^{*3}：2021年9月末時点における「トクバイ」利用（有料及び無料）店舗数、オウチーノ社が提供する広告掲載及び業務支援ツールサービスの利用店舗数、ハイアス社グループが提供するサービスの会員企業数、エニマリ社取引先式場数合計。

^{*4}：2021年9月時点における「トクバイ」、家計簿サービス「Zaim」、社会体験アプリ「ごっこランド」の累計アプリDL数合計。

^{*5}：2021年9月時点を基準としたエニマリ社の結婚式プロデュース件数年間概算値、しずおかオンライン社の直近1年間における「イエタテ相談カウンター」相談数合計。

2021年9月期業績（12ヶ月単純合算値）

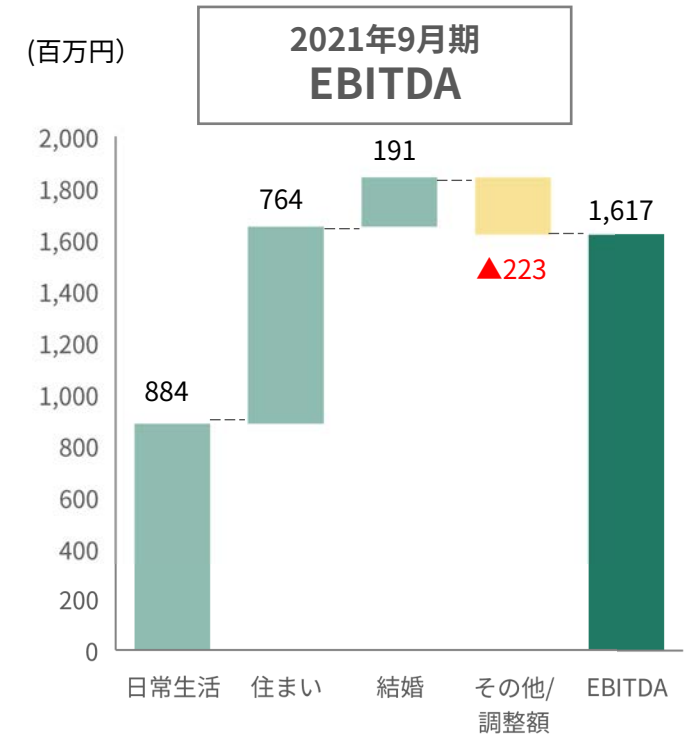
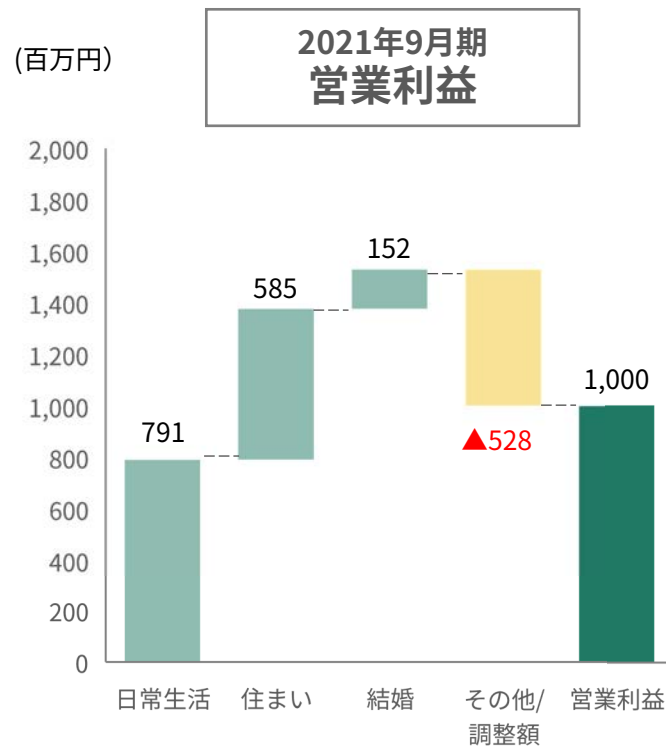
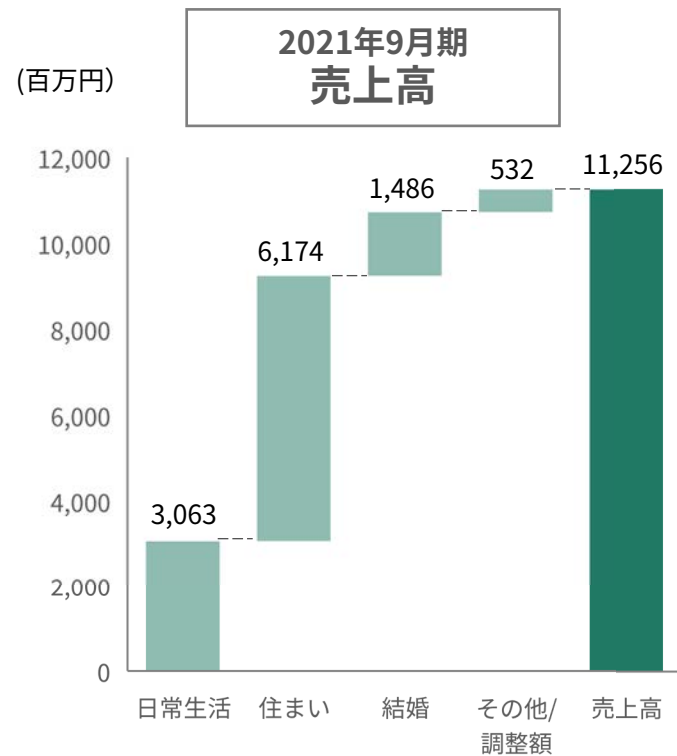
8月13日公表の着地見込みに対して、売上高、利益共に上振れて着地

(単位:百万円)	2020年9月期	2021年9月期			
	実績 [※]	2021年8月13日公表 着地見込み	実績 [※]	前期比	対着地見込み 上振れ率
売上高	6,042	11,000	11,256	186.3%	102.3%
営業利益	604	880	1,000	165.7%	113.7%
EBITDA	890	1,440	1,617	181.8%	112.3%

※ 2020年9月期（2019年10月～2020年9月）及び2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、それぞれの期間における旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロゴガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

主要領域別売上高、営業利益、EBITDA

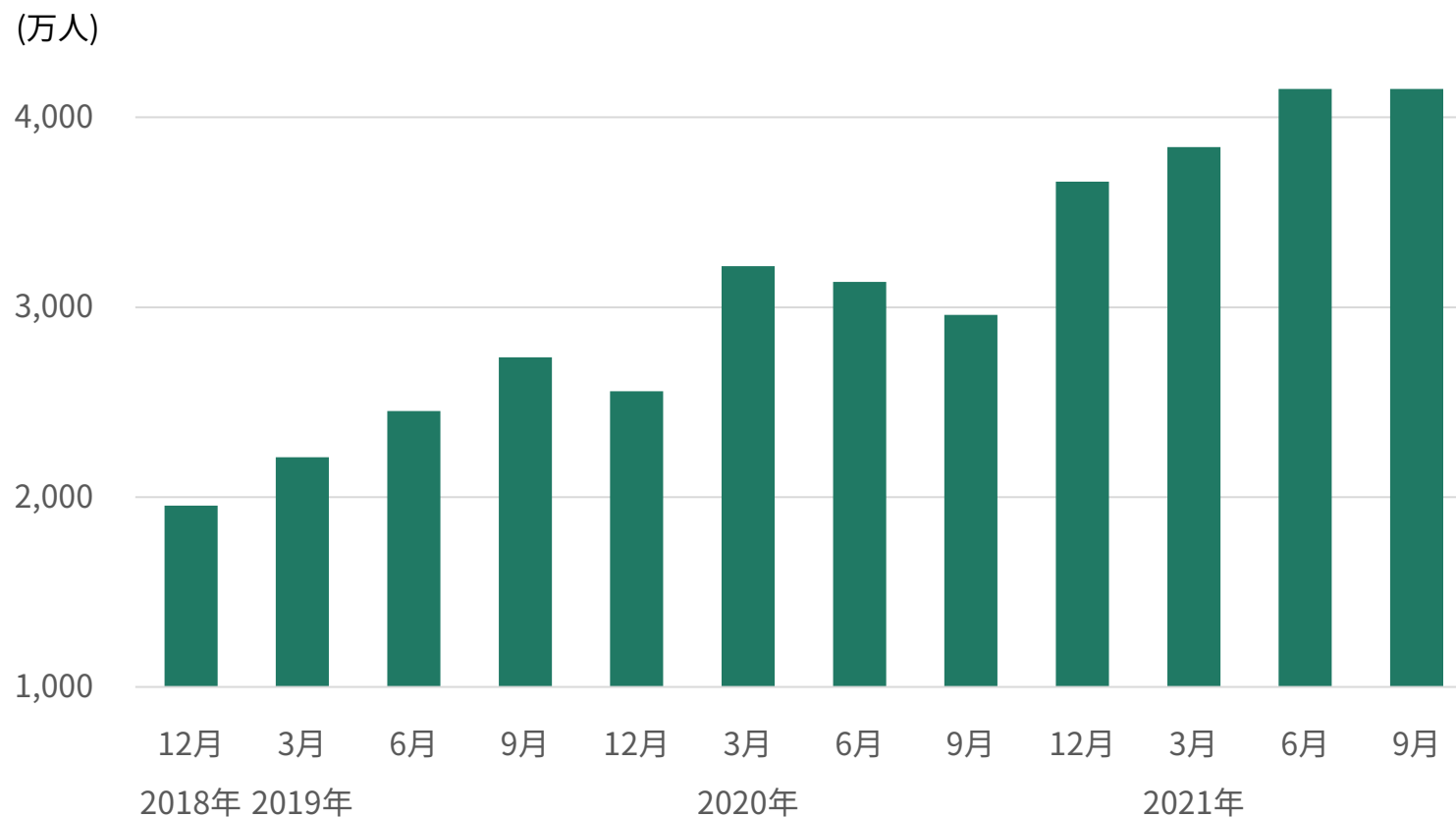
主要領域（日常生活・住まい・結婚）の売上高及び利益構成



※ 2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

グループ全体のメディアの月間利用者数推移

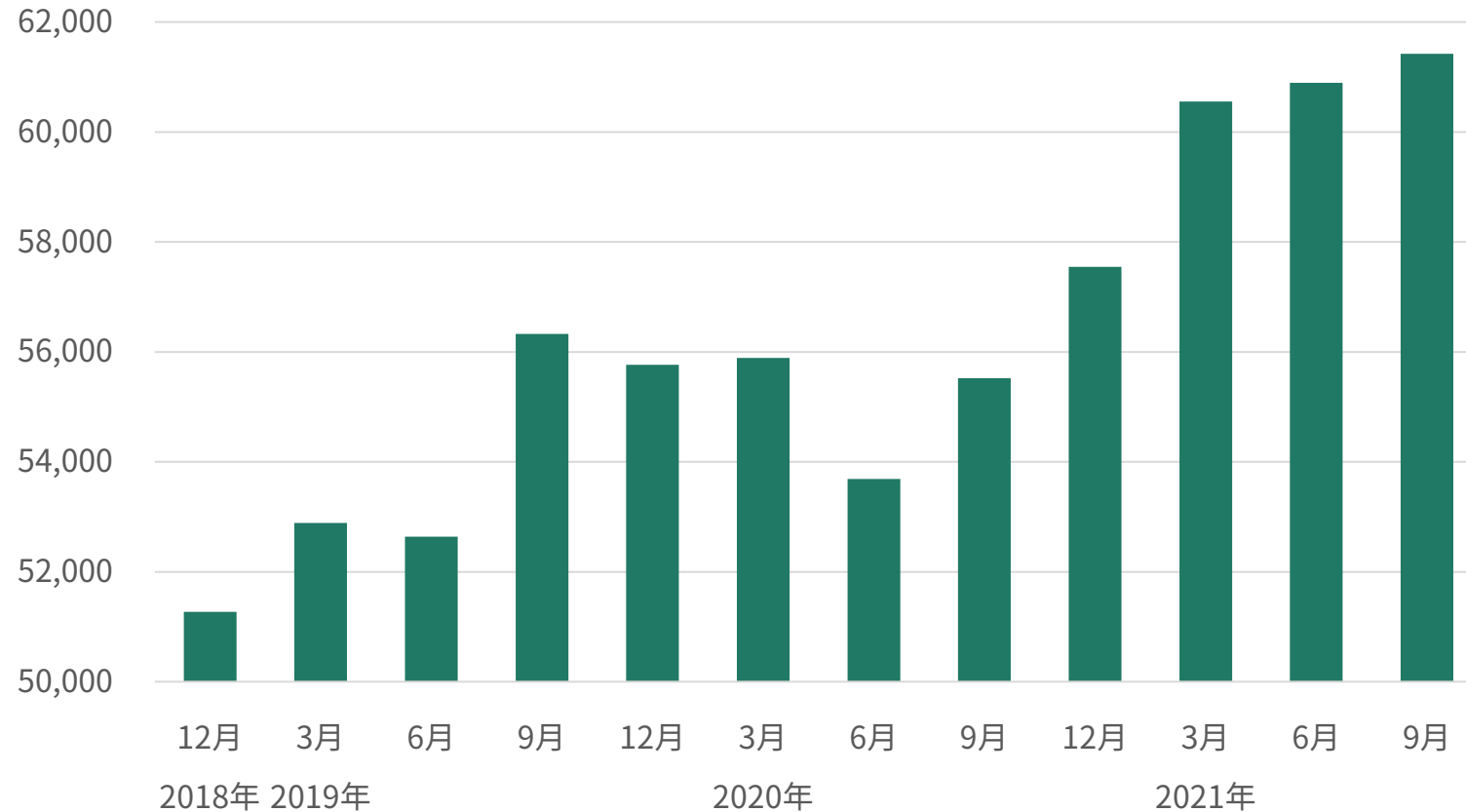
統合後グループとしての月間利用者数は、単純合算ベースで4,000万人超^{*}



^{*} 日常生活領域、地域情報領域、住まい領域、結婚領域の主要メディア及びツール利用者数合計（ブラウザベースまたは端末ベース）。
複数メディアまたはツール利用者の重複は考慮しない単純合算ベース。

グループ全体の契約アカウント数の推移

統合後グループとしての契約アカウント数^{*}は、61,000を超える



^{*} 「トクバイ」利用（有料及び無料）店舗数、オウチーノ社が提供する広告掲載及び業務支援ツールサービスの利用店舗数、ハイアス社グループが提供するサービスの会員企業数、エニマリ社取引先式場数合計。

2022年9月期の業績見通し

日常生活領域及び住まい領域の業績拡大が牽引し、
売上高は180億円、営業利益13億円、EBITDA 23億円を見込む

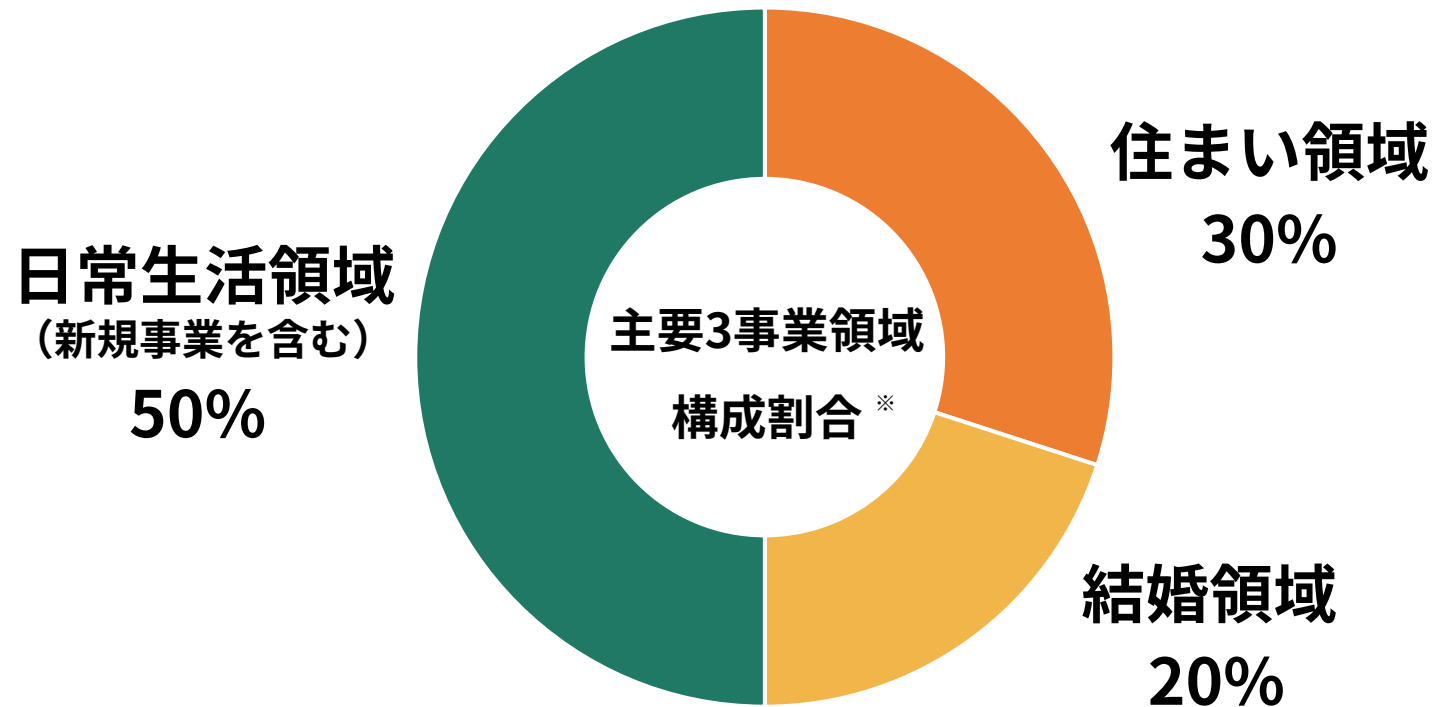
(単位:百万円)	2020年9月期 実績 [*]	2021年9月期 実績 [*]	2022年9月期 業績見通し	前期比
売上高	6,042	11,256	18,000	159.9%
営業利益	604	1,000	1,300	129.9%
EBITDA	890	1,617	2,300	142.2%

^{*}2020年9月期（2019年10月～2020年9月）及び2021年9月期（2020年10月～2021年9月）の実績は、それぞれの期間における旧(株)くふうカンパニー及び(株)ロコガイドの連結業績を単純合算した金額（非監査）。

グループ経営目標

第5期 2026年9月期

グループEBITDA 100億円



* 主要3領域の合計額を母数とした各領域の構成割合。

(参考) 住まい領域の今後 (ハイアス社グループ化の目的)

住まい選びのカタチを変える

メディアによる
ユーザー目線の情報提供

不動産取引の
情報格差を是正

テクノロジーを活用した
新たなサービス

専門家によるアドバイスと
住宅施工

(参考) 住まい領域の今後 (ハイアス社グループ化の目的)

オウチーノ

おうちのくふう

HyAS & Co.
Hyper Asset Solutions

くふうグループのメディア力強化

ユーザー接点の拡大と
有益な売買情報の提供

「オウチーノ」の記事コンテンツ強化や
新たな地域密着型メディアの開発により、
ユーザー接点を拡大

ユーザー目線の情報提供により、
不動産取引の情報格差を是正

リアルとオンラインでの
相談窓口拡大

購入から売却まで、
専門家に気軽に相談できる
地域密着型の相談窓口を
リアルとオンラインで展開

個々のユーザーニーズに応じた
住まい選びの実現

全国の加盟工務店を通じた
住宅施工

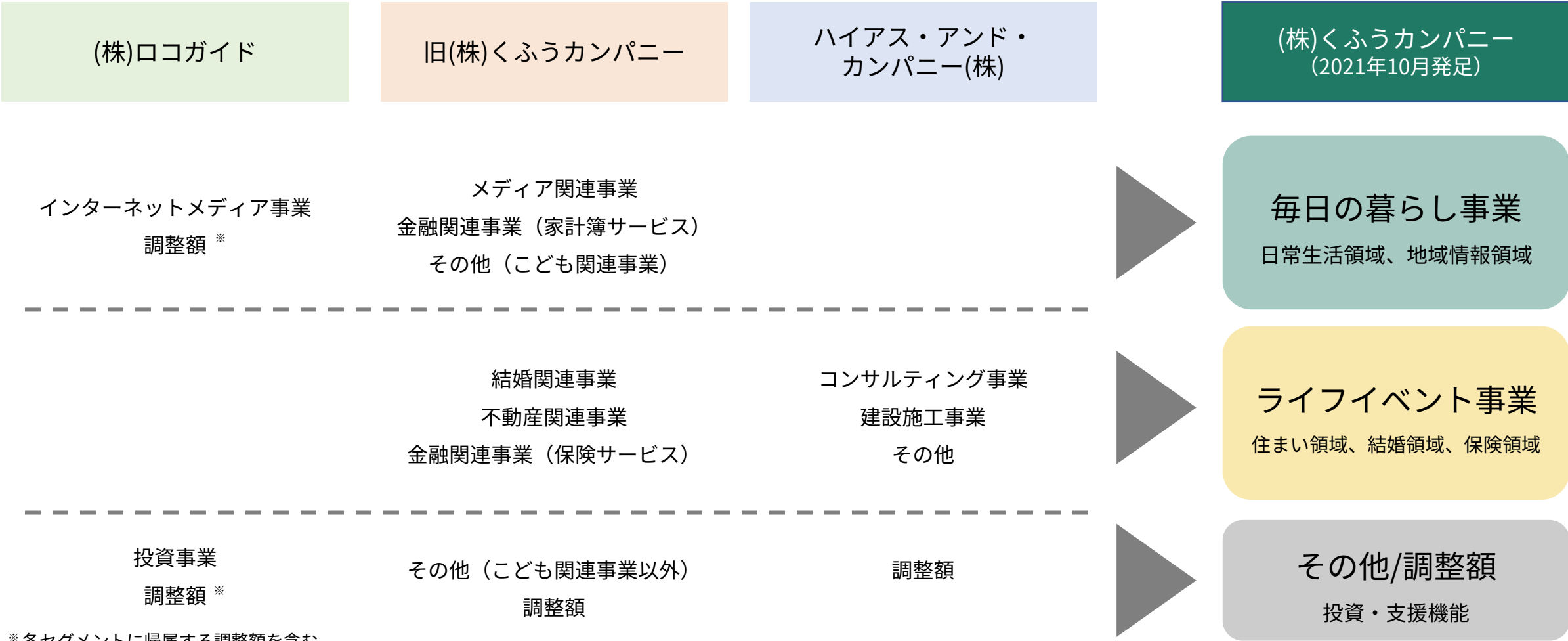
メディアや相談窓口を通じて、
全国各地の加盟工務店の
ユーザー接点を拡大

住宅施工数の増加による収益拡大

2. グループ3社の決算補足説明

統合後の事業セグメント分類

統合後の事業セグメントは「毎日の暮らし事業」と「ライフイベント事業」の2つに分類。
 (株)ロコガイド (インターネットメディア事業) と(株)くらしにくふう (旧(株)くふうカンパニー・メディア関連事業) の組織統合を10/1付で決議



*各セグメントに帰属する調整額を含む。

株式会社口コガイド
2022年9月期 第2四半期（6ヶ月間）
（2021年4月1日～2021年9月30日）

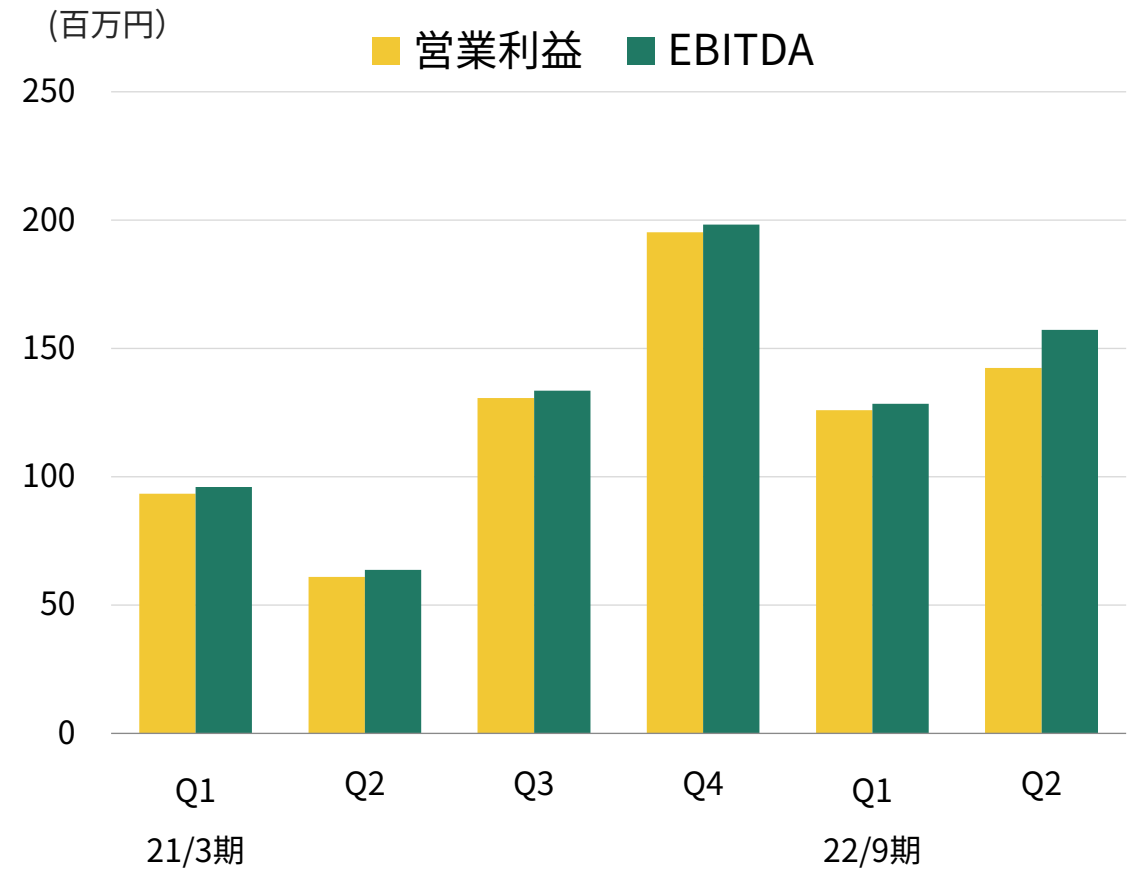
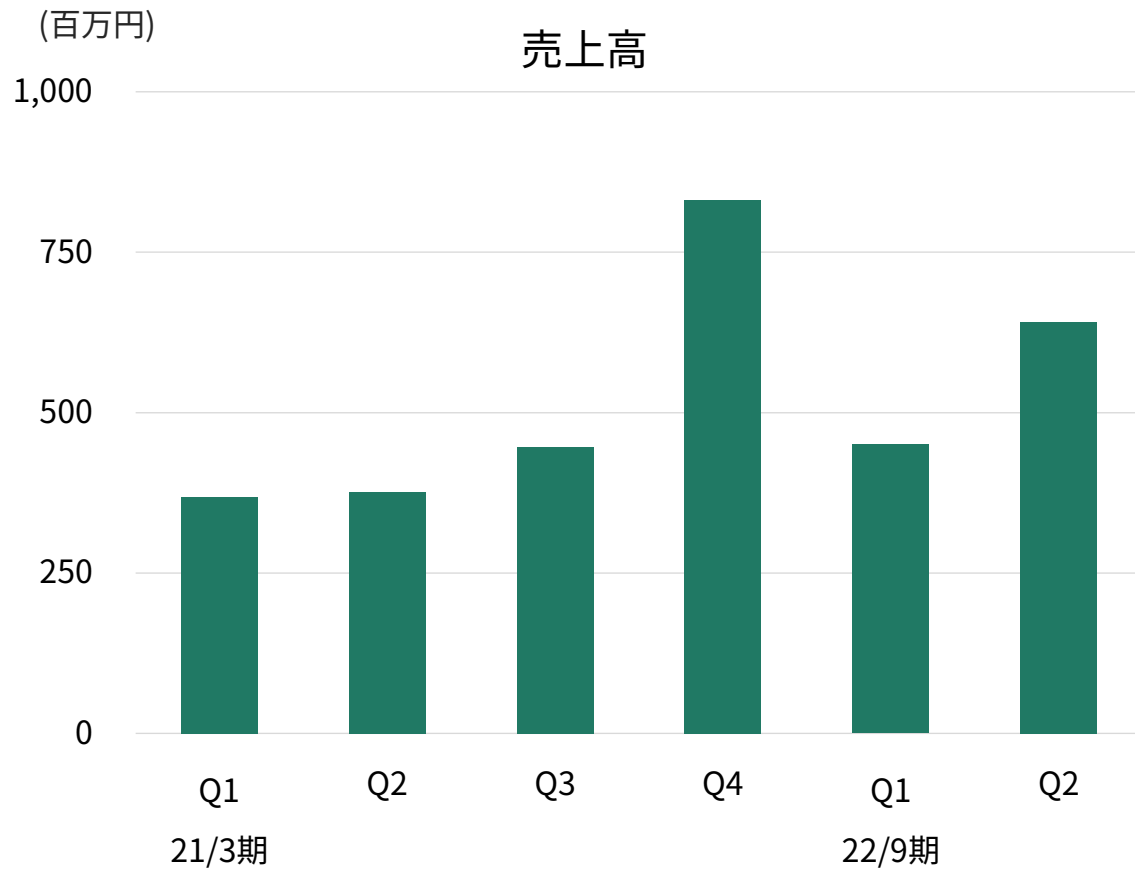
(株)ロコガイド 連結業績 P/L (四半期)

当第2四半期（2021年7-9月）より、完全子会社化した株式会社しずおかオンラインの連結決算を開始

(単位:百万円)	21/3期				22/9期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	前年 同四半期比	前四半期比
売上高	368	376	447	831	450	641	170.3%	142.3%
営業利益	93	60	130	195	125	142	233.7%	113.1%
EBITDA	96	63	133	198	128	157	246.8%	122.4%

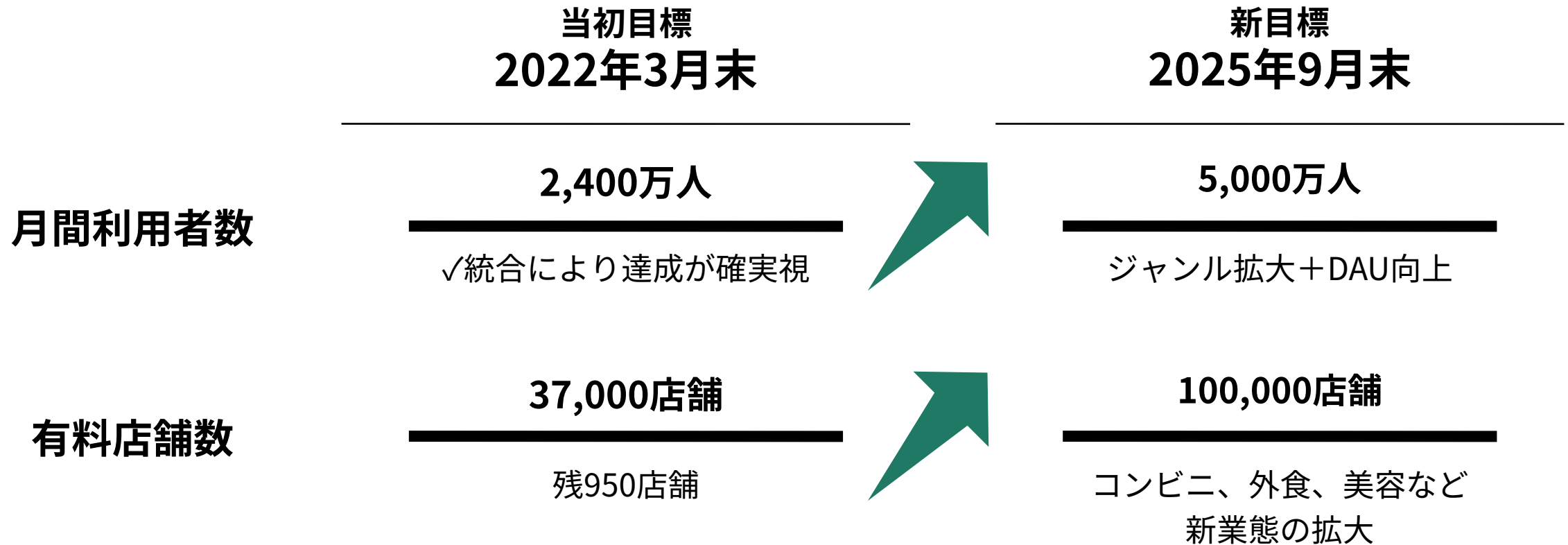
(株)ロコガイド 業績推移

しずおかオンラインの業績寄与と販管費の削減等により、増収増益



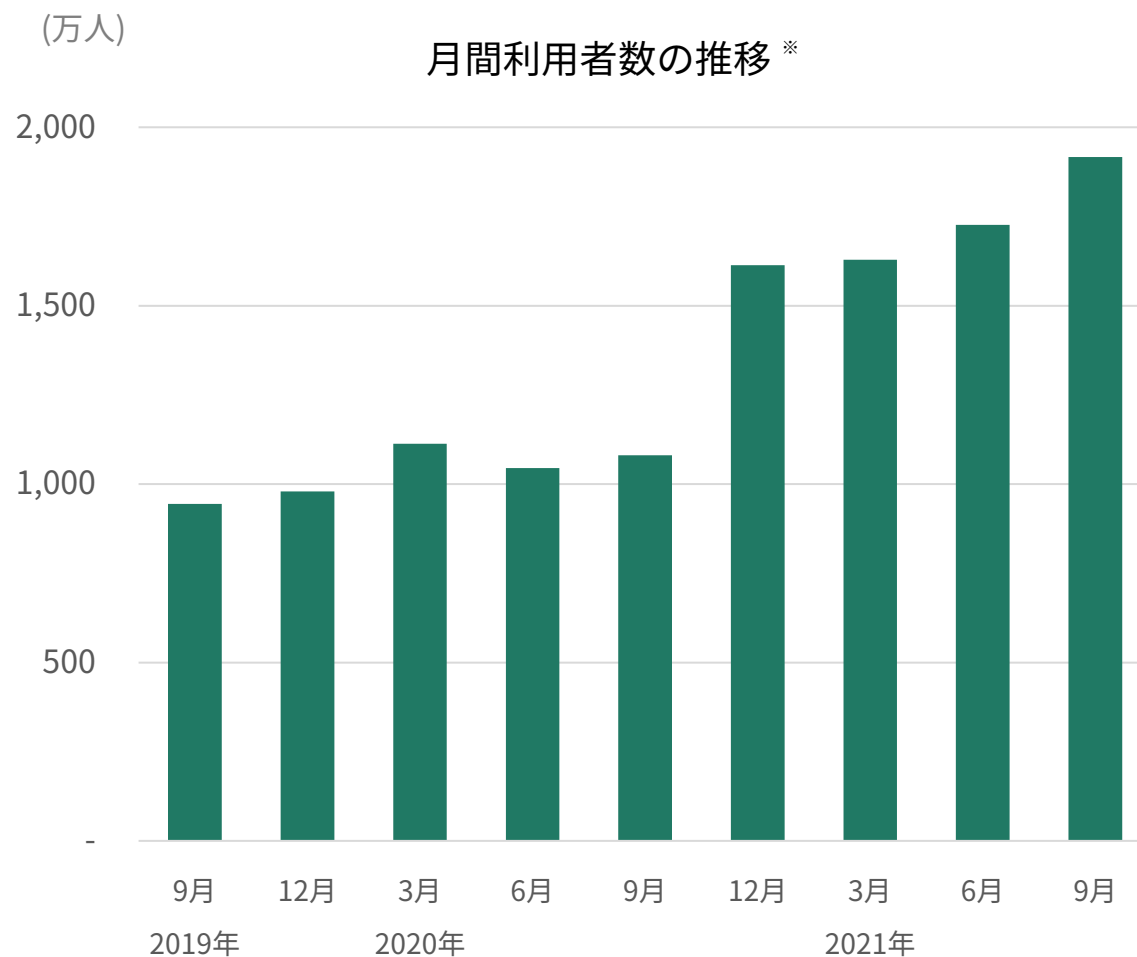
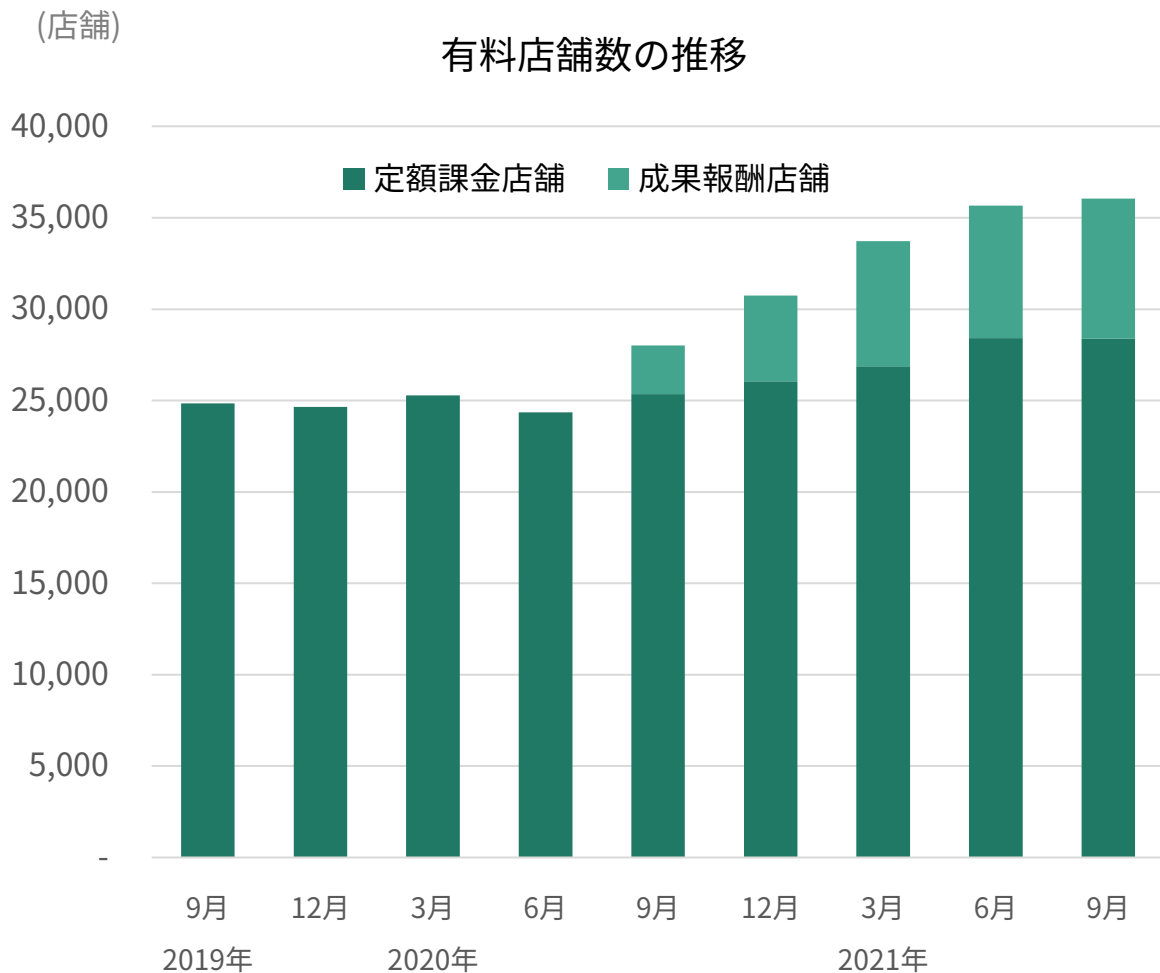
(株)ロコガイド 四半期ハイライト

統合によるメディアやデータのグループ内連携により当初目標の達成が確実視、
次の飛躍的な成長に向けて新たな目標を設定し、複数のサービス開発に着手



(株)ロコガイド 有料店舗数及び月間利用者数推移

2021年9月末時点の有料店舗数は36,051店舗



*ブラウザベースまたは端末ベース、及び複数メディア等の利用者の重複は考慮しない単純合算ベース。

2022年9月期の重点施策

①メディア力を強化しユーザー数増、収益拡大を狙う

メディア力強化

新規コンテンツ開発

季節特集・レシピ・トレンド商品等、「チラシ以外」の買い物支援コンテンツを増強



52週買い物支援コンテンツを統合後20日で第一弾リリース

店舗コンテンツ拡大

業態の開拓を強化・店舗拡大によりチラシ等のコンテンツを増強

コンビニエンス
ストア
5万店
(国内55,949店)^{*1}

外食
チェーン
7万店
(国内6万~7万店)^{*2}

^{*1}: JFAコンビニエンスストア統計調査月報（2021年9月度）。

^{*2}: 2020年度「JFAフランチャイズチェーン統計調査（外食業）」をベースに当社推計。

グループメディア連携による集客

ヨムーノ等のグループメディアの連携によりユーザー体験を増強

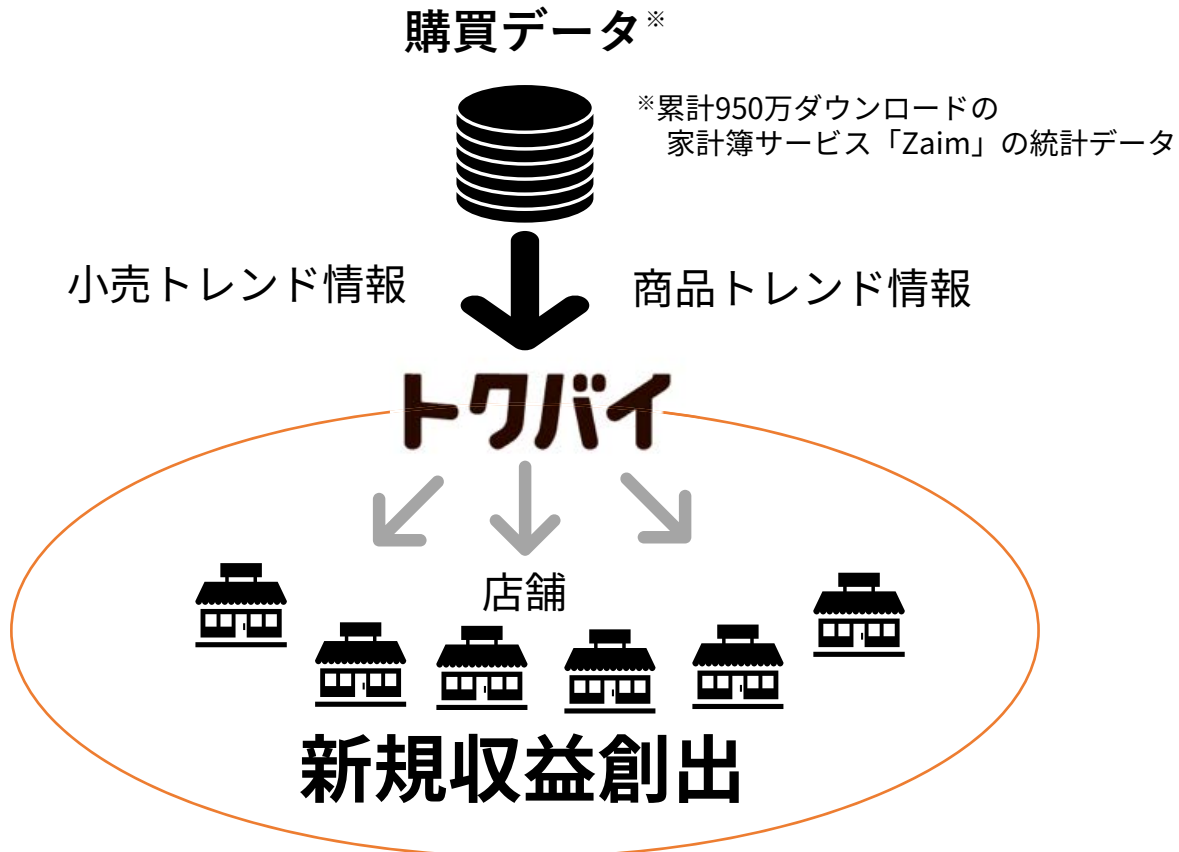


収益拡大

2022年9月期の重点施策

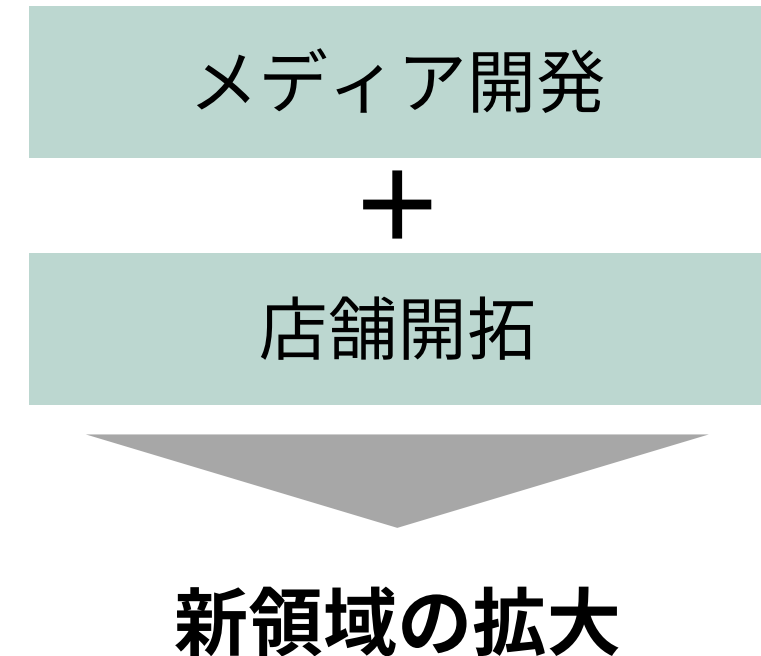
② SaaS進化 新規収益創出

購買データから市場トレンド情報の提供



③ 新領域の拡大

毎日の買い物だけではない、
新たな領域への拡大を推進



(株)ロコガイド 連結業績 B/S

(単位:百万円)		2021年3月末	2021年9月末	増減額	増減要因
流動資産		6,278	6,771	+493	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)しずおかオンラインの連結開始等に 伴い、現金及び預金が379百万円増加 ・(株)しずおかオンラインの株式取得に伴い、 のれん計上額が172百万円増加
(現金及び預金)		2,807	3,187	+379	
固定資産		230	385	+154	
(のれん)		—	172	+172	
資産		6,525	7,169	+643	
負債		736	1,217	+481	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)しずおかオンラインの連結開始に 伴い、1年以内返済長期借入金及び 長期借入金が302百万円増加
(1年以内返済長期借入金 及び長期借入金)		—	302	+302	
純資産		5,788	5,951	+162	
(利益剰余金)		732	893	+160	
負債及び純資産		6,525	7,169	+643	

※ () 記載している項目の金額は内書を表示。

旧 株式会社くふうカンパニー
2021年9月期 通期（12ヶ月間）
（2020年10月1日～2021年9月30日）

旧(株)くふうカンパニー 2021年9月期 通期 実績

8月13日公表の修正後予想に対して、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の上振れを主因に、グループ全体の営業利益も上振れて着地

	19/9期	20/9期	21/9期		前期比	対2021年 8月13日公表 修正予想
	実績	実績	当初予想	2021年 8月13日公表 修正予想		
(単位:百万円)						
売上高	4,493	4,548	6,000	8,647	195.4%	102.8%
営業利益	270	235	300	304	172.5%	133.7%
EBITDA	464	510	600	843	196.1%	118.7%

※(株)キッズスターの損益を2021年9月期 第2四半期連結会計期間より連結。

※ハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期 第4四半期連結会計期間より連結(同社の決算期変更に伴い、第4四半期に2021年5月～9月までの5か月分を計上)。

旧(株)くふうカンパニー 連結業績 P/L (四半期)

ハイアス・アンド・カンパニー(株)の連結開始に伴い、大幅増収増益

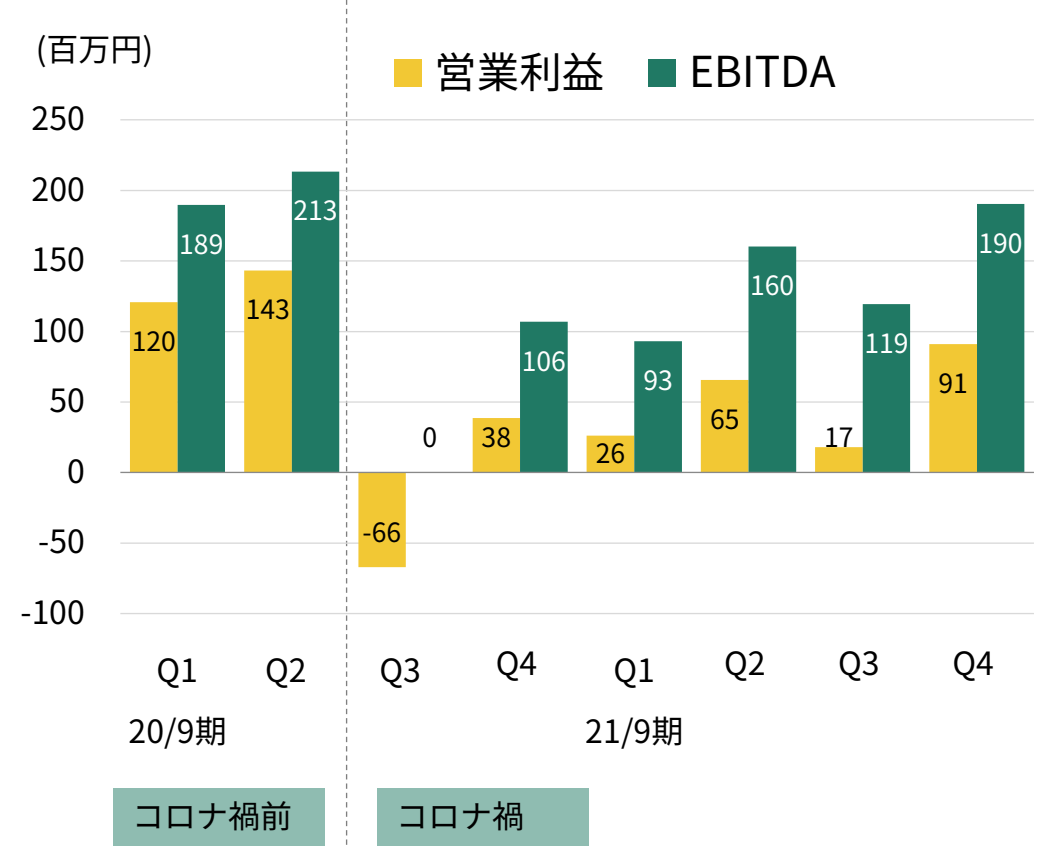
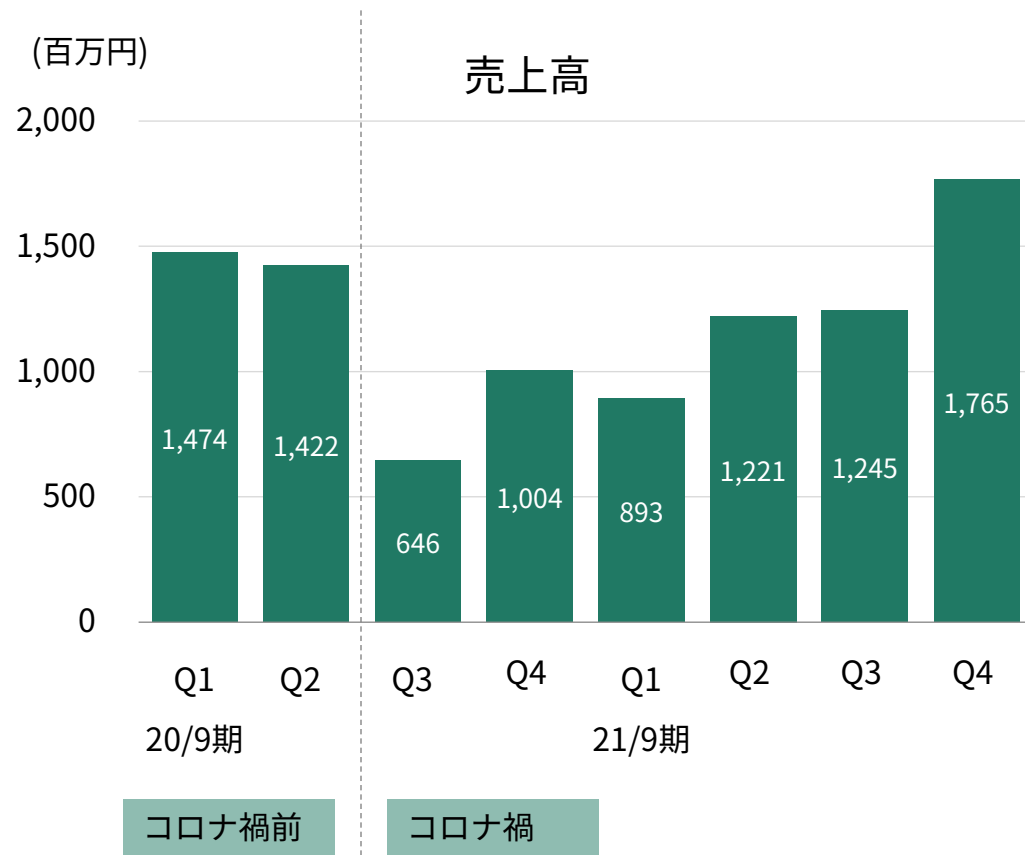
(単位:百万円)	20/9期				21/9期				前年 同四半期比	前四半期比
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
売上高	1,474	1,422	646	1,004	893	1,221	1,245	5,525	549.9%	443.7%
営業利益	120	143	△66	38	26	65	17	296	767.1%	1652.6%
EBITDA	189	213	0	106	93	160	119	627	587.1%	525.9%

※ (株) キッズスターの損益を2021年9月期 第2四半期連結会計期間より連結。

※ ハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期 第4四半期連結会計期間より連結(同社の決算期変更に伴い、第4四半期に2021年5月～9月までの5か月分を計上)。

旧(株)くふうカンパニー 業績推移 (ハイアス社を除く)

ハイアス・アンド・カンパニー(株)連結開始の影響を除いた損益は、前四半期比増収増益



※ (株) キッズスターの損益を2021年9月期 第2四半期連結会計期間より連結。

※ 2021年9月期 第4四半期連結会計期間より連結開始のハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を除いた金額。

旧(株)くふうカンパニー 四半期ハイライト

当第4四半期(7-9月)の連結業績は、売上高 5,525百万円 (YoY 549.9%)、
営業利益 296百万円 (YoY 767.1%)、EBITDA 627百万円 (YoY 587.1%) で着地

➤ **結婚関連事業**

- ・コロナ禍の長期化による影響が続く中、各種の事業施策は一定の効果を獲得。業績の本格的な回復軌道には至らずも、黒字を維持

➤ **不動産関連事業**

- ・ハイアス・アンド・カンパニー(株)の連結開始に伴い、大幅増収増益
- ・メディア事業は厳しい状況が続くも、本格始動から1年経過した買取再販事業は通期ベースでも黒字化を達成、富裕層向け事業と共に増収増益に寄与

➤ **金融関連事業**

- ・家計簿サービスにおいて、企業向け収益の反動減と季節性の管理コスト発生により前四半期比減収減益となるも、企業等のデータ分析関連の受注は拡大

➤ **メディア関連事業**

- ・買い物コンテンツ等の新たな収益源が拡大し、利益創出に寄与
- ・10月1日付で(株)くらしにくふうと(株)ロコガイドの合併を決議、新体制発足へ

旧(株)くふうカンパニー セグメント別売上高(四半期)

- 結婚関連事業はプロデュースサービスにおける結婚式開催数がやや増加し、前四半期比増収
- 不動産関連事業の既存事業は、買取再販事業における物件販売が季節要因もあり伸長
- 金融関連事業はZaim社の企業向け収益の反動減により、前四半期比減収

(単位:百万円)		20/9期				21/9期				前年同四半期比	前四半期比
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
売上高	結婚関連事業	1,149	1,046	318	342	463	371	315	335	98.0%	106.3%
	不動産関連事業	200	216	136	165	215	544	575	4,838	2917.8%	840.3%
	金融関連事業	65	72	93	105	103	118	141	123	116.8%	87.5%
	メディア関連事業	50	63	69	78	80	74	91	92	118.3%	101.9%
	その他	19	31	43	43	61	151	153	164	378.9%	107.0%
	調整額	△11	△6	△15	269	△30	△39	△32	△29	-	-

※ 2021年9月期 第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「金融関連事業」、「メディア関連事業」を報告セグメントとして開示。

以下、本資料における前年度の数値は変更後のセグメント区分に組み替えて記載。

※ 「その他」区分において、(株)キッズスター(こども関連事業)の損益を2021年9月期 第2四半期連結会計期間より連結。

※ 「不動産関連事業」区分において、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期 第4四半期連結会計期間より連結(同社の決算期変更に伴い、第4四半期に2021年5月～2021年9月までの5か月分を計上)。

旧(株)くふうカンパニーセグメント別 営業利益・EBITDA (四半期)

- 結婚関連事業はメディア事業減収の影響により、利益は前四半期と同水準に留まる
- 不動産関連事業の既存事業は、買取再販事業の伸長を主因に増益

(単位:百万円)		20/9期				21/9期				前年同四半期比	前四半期比
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
営業利益	結婚関連事業	204	191	△30	△15	76	48	13	13	-	100.4%
	不動産関連事業	25	26	15	8	16	73	89	405	4572.3%	452.5%
	金融関連事業	△13	△12	△0	7	7	16	30	5	70.7%	17.1%
	メディア関連事業	8	25	29	29	26	18	25	29	98.0%	113.2%
	その他	△8	1	△9	△18	△13	9	△9	4	-	-
	調整額	△95	△89	△72	26	△86	△100	△133	△161	-	-
EBITDA	結婚関連事業	217	204	△17	△3	86	58	23	23	-	99.1%
	不動産関連事業	27	28	18	12	20	77	93	573	4596.2%	610.5%
	金融関連事業	△8	△7	4	12	13	22	37	12	95.0%	32.7%
	メディア関連事業	8	25	29	29	26	18	25	29	98.6%	113.4%
	その他	△8	1	△8	△18	△13	21	9	20	-	224.9%
	調整額	△45	△39	△25	73	△40	△37	△70	△30	-	-

※ 「その他」区分において、(株)キッズスター(こども関連事業)の損益を2021年9月期 第2四半期連結会計期間より連結。

※ 「不動産関連事業」区分において、ハイアス・アンド・カンパニー(株)の損益を2021年9月期 第4四半期連結会計期間より連結(同社の決算期変更に伴い、第4四半期に2021年5月～2021年9月までの5か月分を計上)。

旧(株)くふうカンパニー 連結業績 B/S

(単位:百万円)		2020年9月末	2021年9月末	増減額	増減要因
流動資産		3,272	8,837	+5,564	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイアス・アンド・カンパニー(株)の連結開始等に伴い、現金及び預金が2,631百万円増加 ・買取再販事業における仕入等に伴い、販売用不動産が1,675百万円増加 ・(株)キッズスター及びハイアス・アンド・カンパニー(株)の株式取得等に伴い、のれん計上額が1,384百万円増加
(現金及び預金)	1,989	4,620	+2,631		
(販売用不動産)	737	2,412	+1,675		
固定資産	3,101	5,988	+2,886		
(のれん)	2,492	3,877	+1,384		
資産	6,374	14,825	+8,451		
負債	1,943	9,246	+7,303	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金及び長期借入金が4,779百万円増加 ・ハイアス・アンド・カンパニー(株)における収益認識会計基準の適用等に伴い、前受金が1,277百万円増加 	
(短期借入金及び長期借入金)	1,364	6,144	+4,779		
(前受金)	26	1,304	+1,277		
純資産	4,431	5,578	+1,147		
(利益剰余金)	△51	△165	△113		
(非支配株主持分)	92	1,314	+1,221		
負債及び純資産	6,374	14,825	+8,451		

※ () 記載している項目の金額は内書を表示。

結婚関連事業

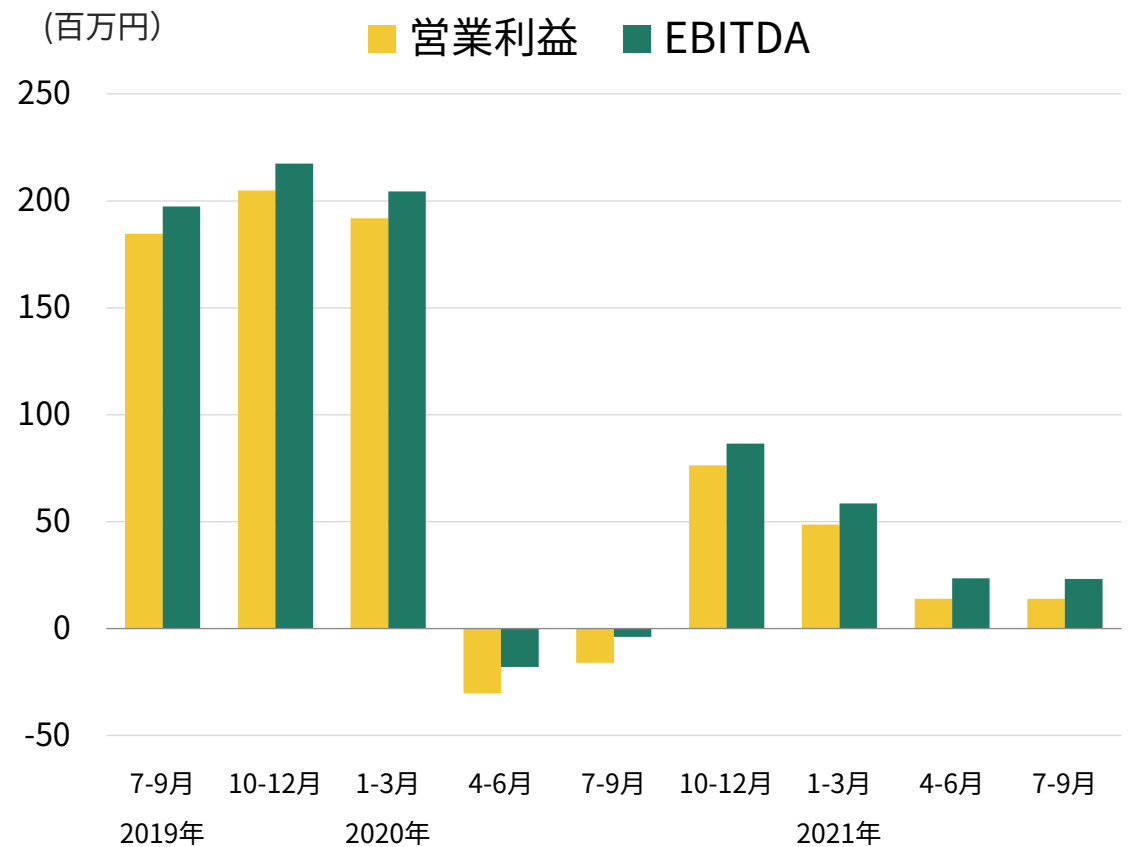
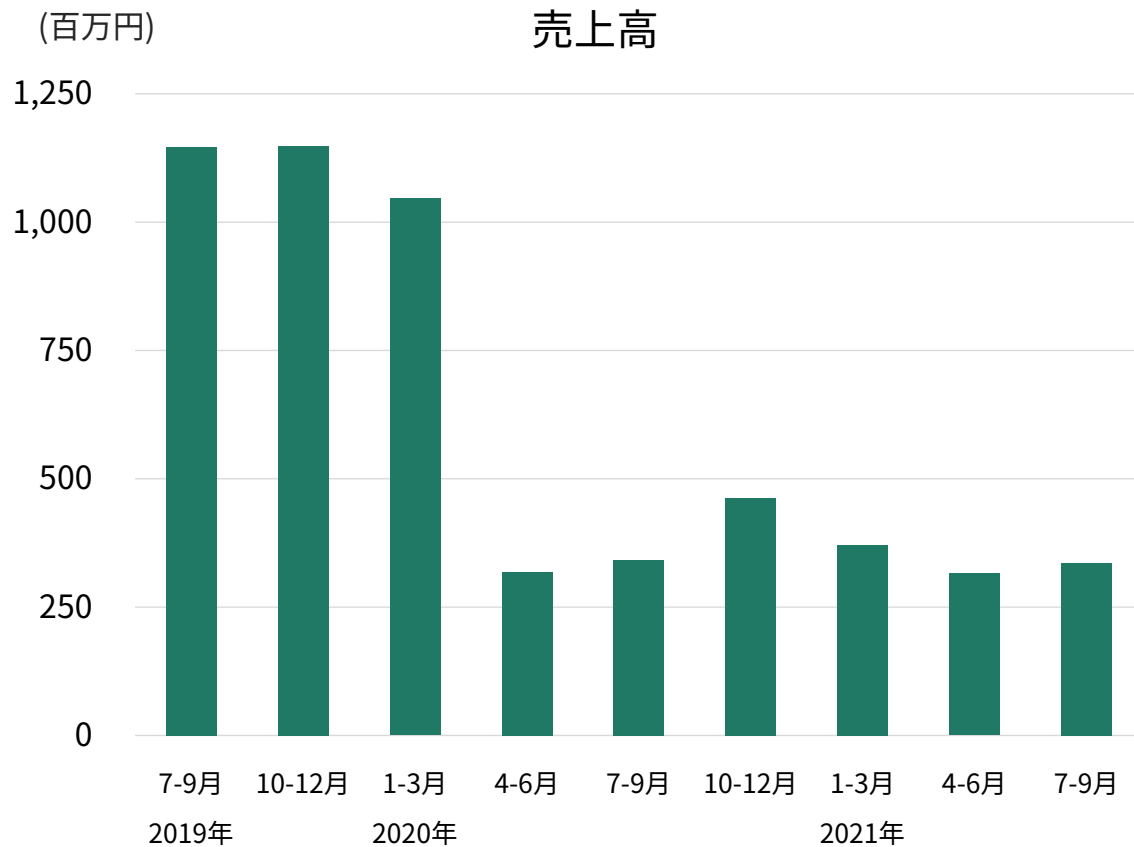
結婚関連事業 四半期ハイライト

**コロナ禍の長期化による影響が続く中、各種の事業施策は一定の効果を獲得。
業績の本格的な回復軌道には至らずも、黒字を維持**

- メディア事業は広告掲載の年間契約の継続率が低調に推移、掲載プランの見直しや解約が発生。
- 結婚式プロデュースサービス『会費婚』は結婚式の施行延期/キャンセルは発生するも施行数は徐々に増加、ドレス販売は店舗や催事の客足は鈍さが続くも、他社とのタイアップ販売会など新たな販売手法に一定の効果。
- 「新しい結婚のカタチ」を提案する『エニマリ』のサービスは、フォトサービスや少人数婚を中心に新規受注が緩やかなペースで増加。
- 結婚業界向けのDX推進ツール(オンライン接客ツール、ゲスト満足度調査ツール)は、営業強化により一定の導入件数を確保。

結婚関連事業 業績推移

有料掲載式場数の減少によるメディア事業の落ち込みを、プロデュースサービスやドレス販売でカバーし、業績は前四半期と同水準に



不動産関連事業

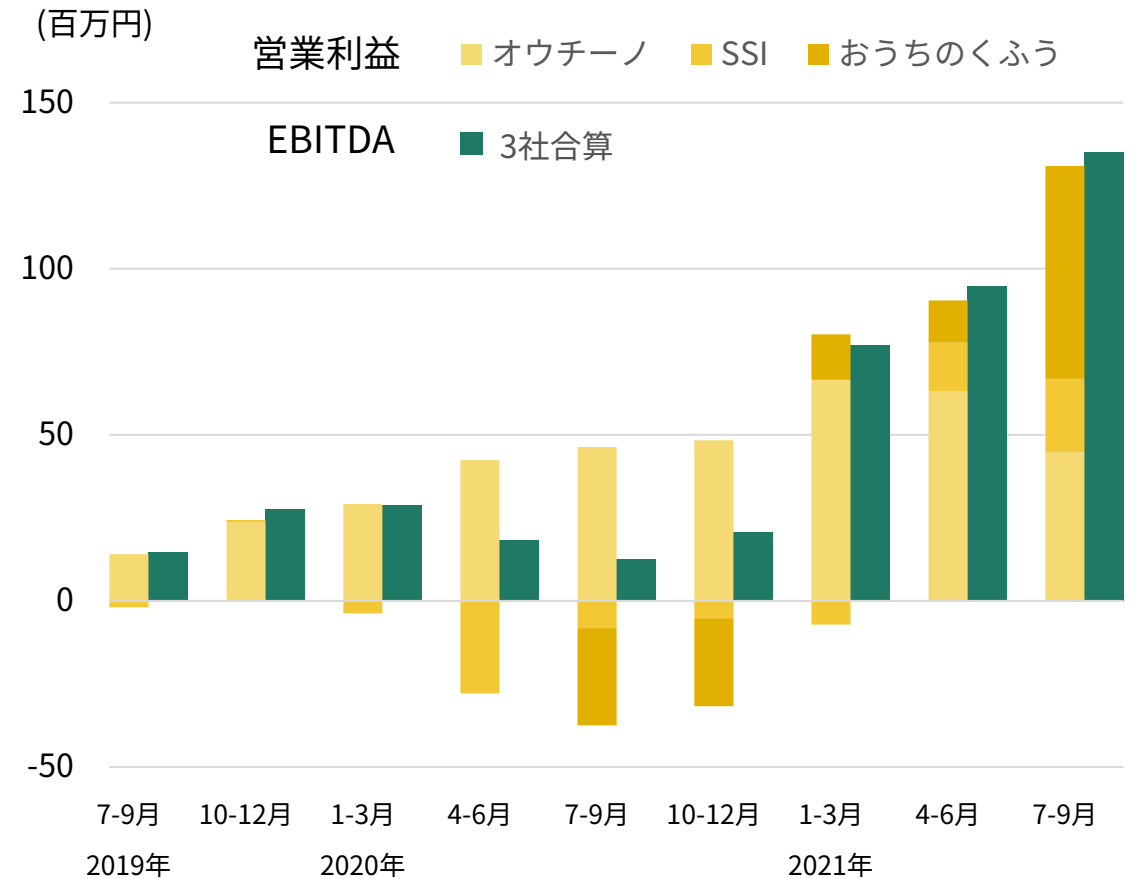
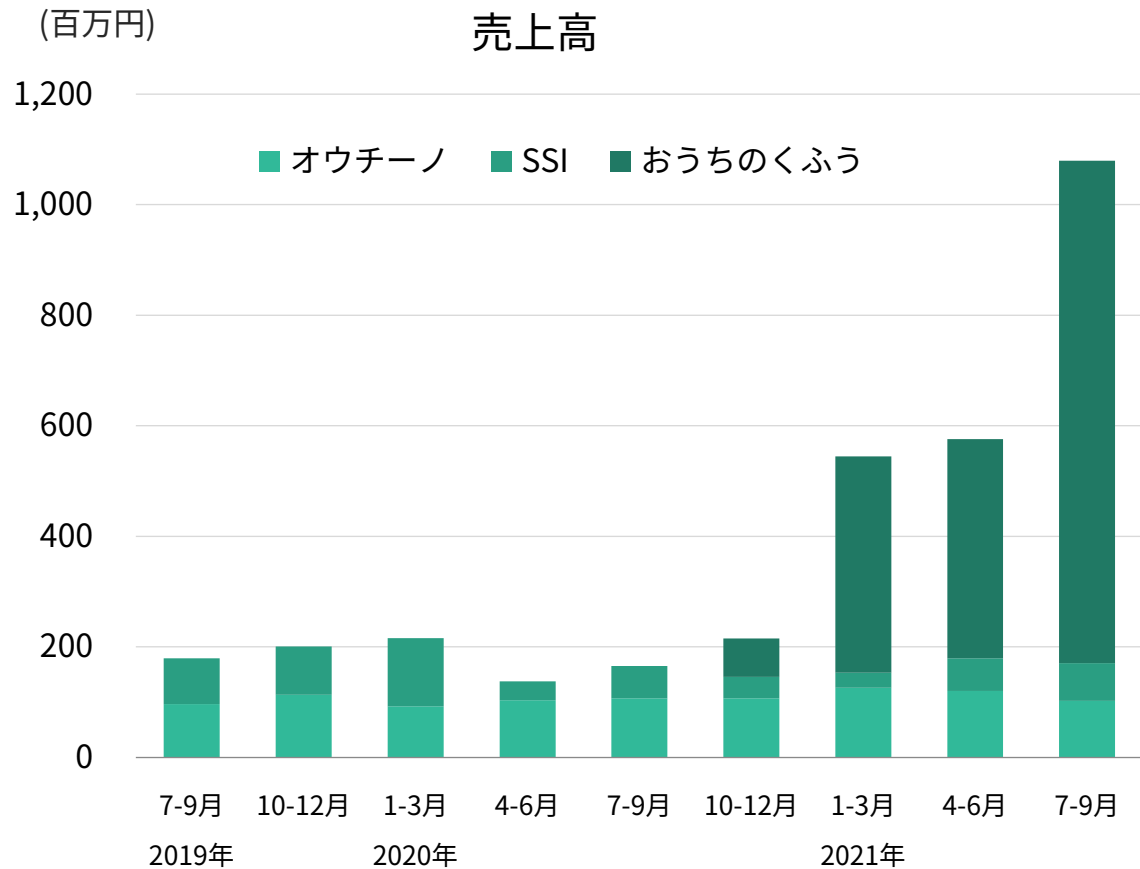
不動産関連事業（ハイアス社を除く） 四半期ハイライト

メディア事業は厳しい状況が続くも、本格始動から1年経過した買取再販事業は通期ベースでも黒字化を達成、富裕層向け事業と共に増収増益に寄与

- オウチーノ社は営業支援ツールサービス『オウチーノ くらすマッチ』の販売が安定的に売上に寄与するも、外部サイトの検索アルゴリズム更新の影響による自社サイト訪問数の減少が継続、前四半期比減収減益に。
- おうちのくふう社の買取再販事業は、業界の季節要因も後押しとなり販売件数が増加、売上・利益共に前四半期比で大幅に伸長し、通期ベースでの黒字化を達成。
- SSI社の富裕層向け事業は、米国ハワイ州を中心とした仲介案件の増加が寄与し、前四半期比で増収増益、通期ベースでも黒字で着地。米国ハワイ州でのコロナ新規感染者数増加に伴う規制強化等は注視。

不動産関連事業 (ハイアス社を除く) 業績推移

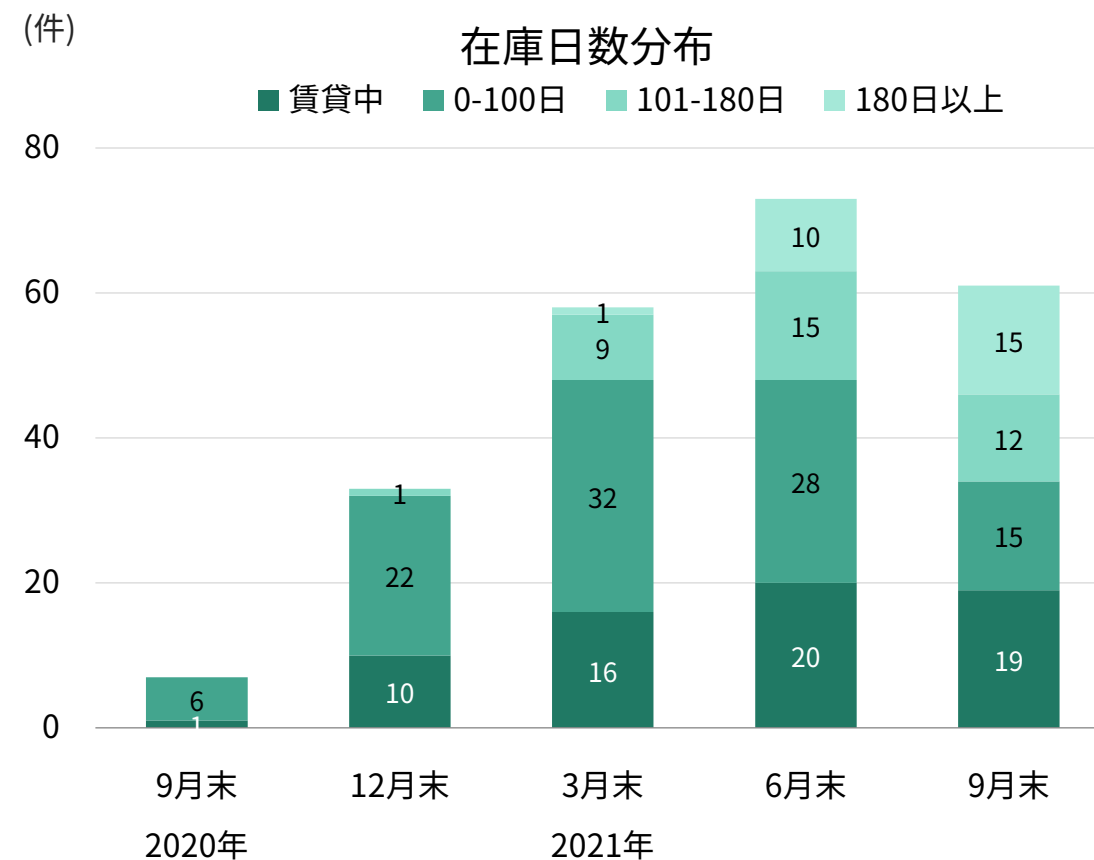
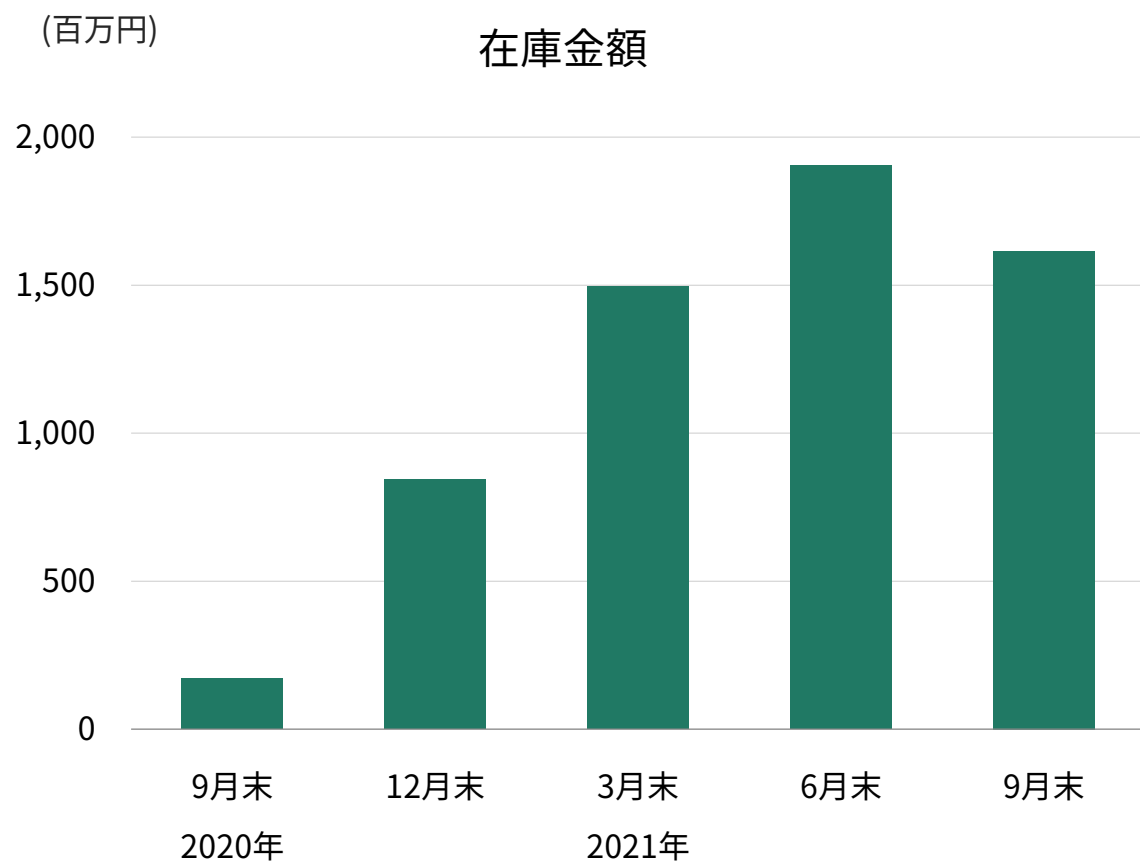
「オウチーノ」のメディア事業は厳しい状況が続くが、買取再販事業や富裕層向け事業が事業領域全体の増収増益に寄与



* (株) オウチーノ、(株) おうちのくふう、(株) SSIの3社単純合算ベース (一部、グループ内取引含む)。

買取再販事業の進捗

7-9月の粗利益率は12.8%、当該期間の販売実績(26件)における平均在庫回転期間は193日。
緊急事態宣言等の影響により4-6月の販売が低調だったことを受けて、7-9月の仕入れを抑制



金融関連事業

金融関連事業 四半期ハイライト（家計簿サービス、保険サービス）

家計簿サービスにおいて、企業向け収益の反動減と季節性の管理コスト発生により前四半期比減収減益となるも、企業等のデータ分析関連の受注は拡大

【家計簿サービス】

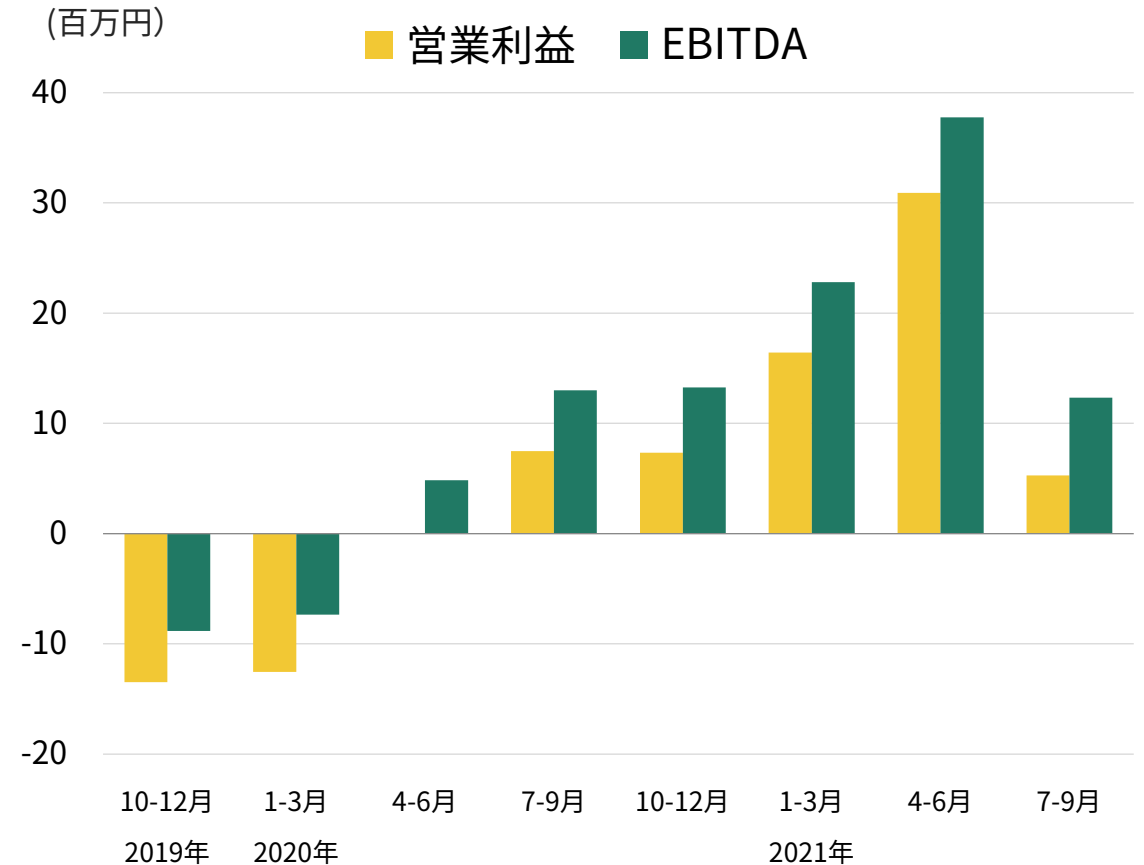
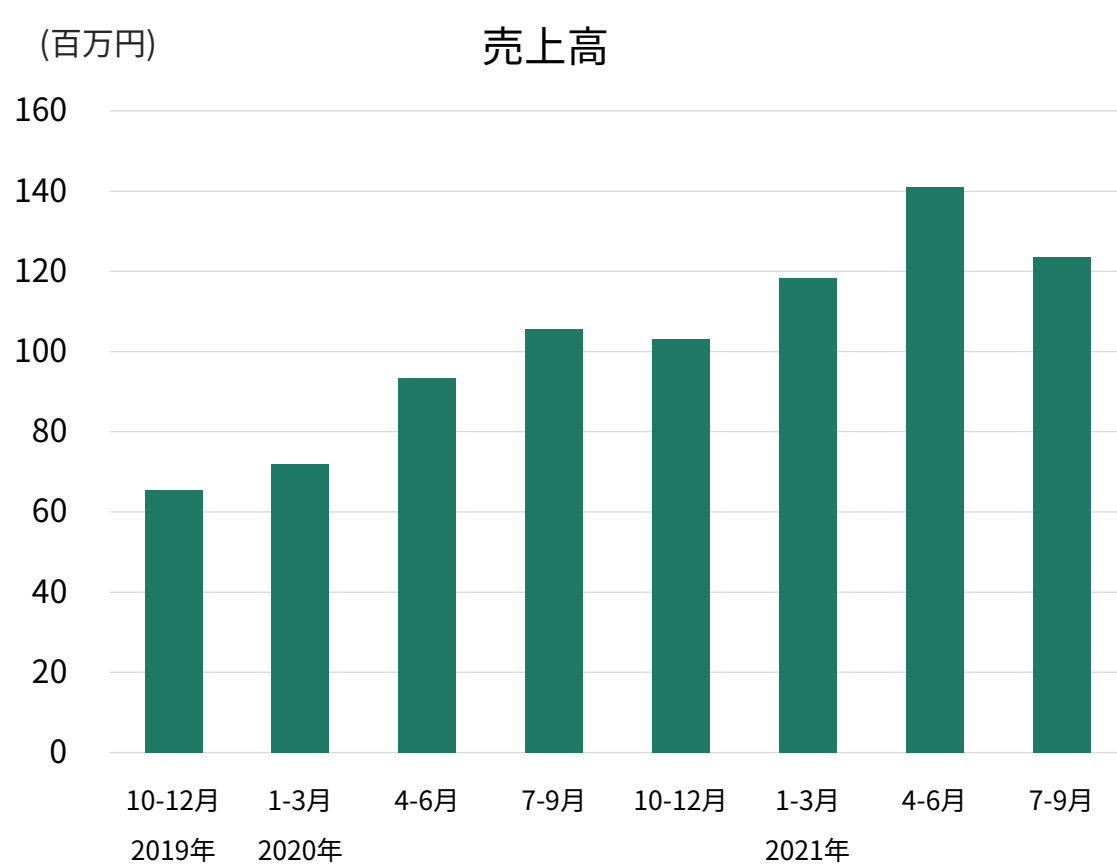
- 前四半期に発生した大手メーカー企業向け購買分析システムの納品からの反動減が生じるも、引き続きメーカー企業を中心にデータ分析/連携ニーズが好調。
- 決算賞与等の季節性の管理コストの発生により、利益創出は限定的。

【保険サービス】

- 結婚や不動産関連を中心に、グループ内各事業領域のユーザーニーズを捉えた保険商品の開発を推進。

金融関連事業 業績推移

家計簿サービスにおける企業向け収益の反動減と季節性の管理コスト発生により、前四半期比減収減益



メディア関連事業

メディア関連事業 四半期ハイライト

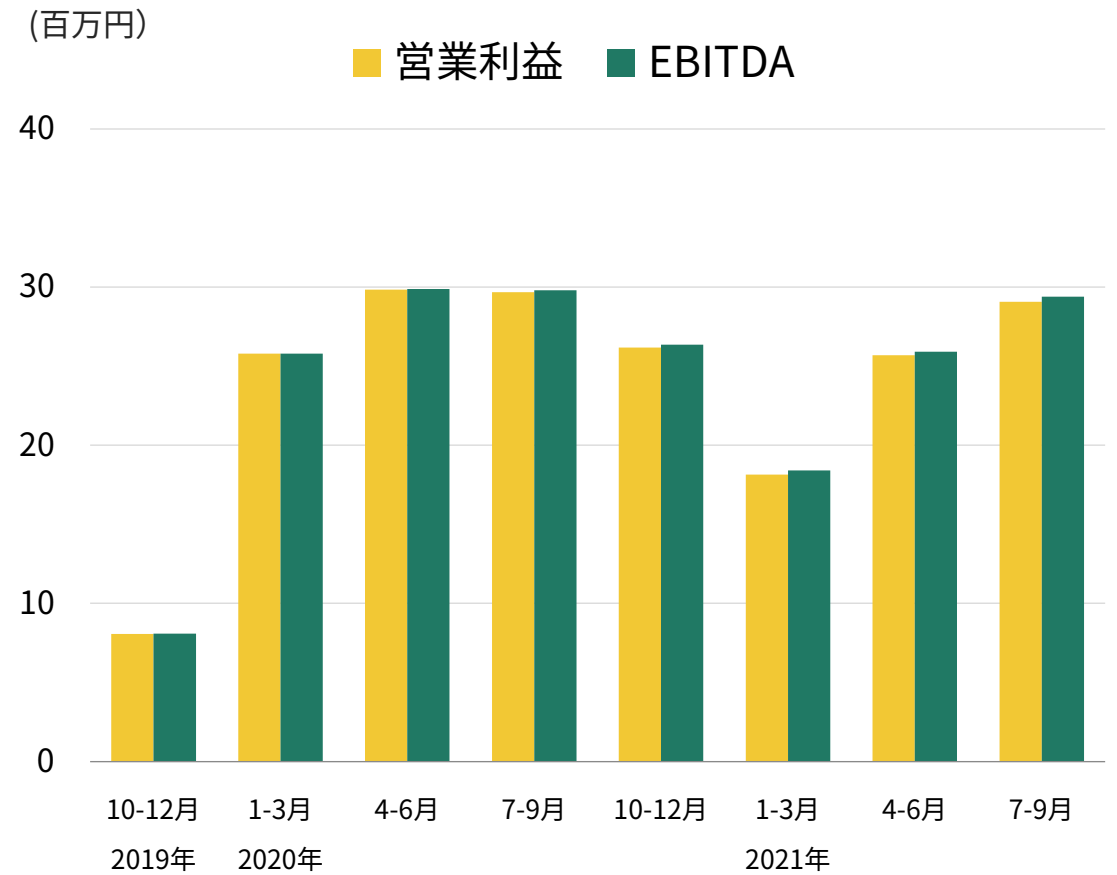
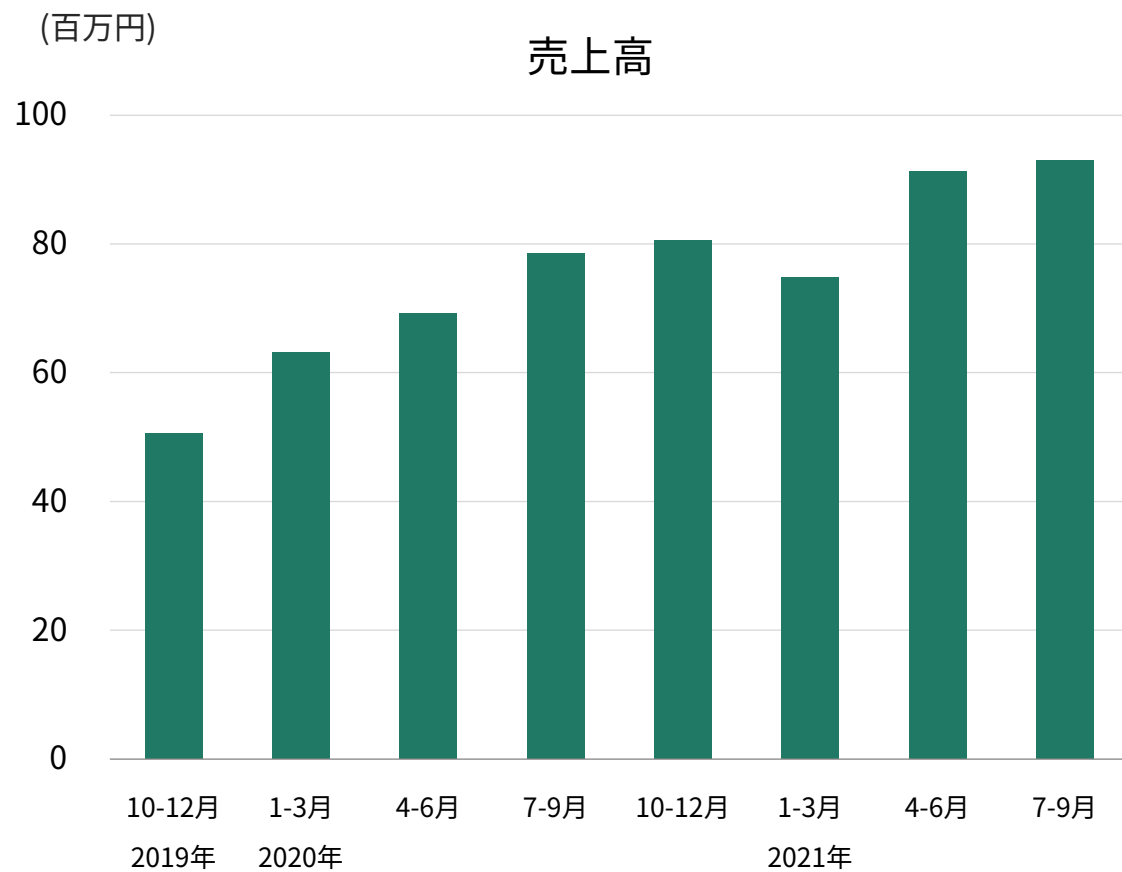
買い物コンテンツ等の新たな収益源が拡大し、利益創出に寄与。

10月1日付で(株)くらしにくふうと(株)ロコガイドの合併を決議、新体制発足へ

- 「買えるヨムーノ」等の買い物コンテンツによるアフィリエイト収入が拡大し、ネットワーク広告とタイアップ広告に次ぐ新たな収益源として成長。
- 10月1日付で(株)くらしにくふうと(株)ロコガイドの合併を決議（効力発生日は2022年4月1日を予定）。
→新体制発足に向けて組織・管理体制整備と事業計画・統合プロダクト計画を進行中。

メディア関連事業 業績推移

買い物コンテンツ等の新たな収益源が拡大し、利益創出に寄与



ハイアス・アンド・カンパニー株式会社

2021年9月期 通期（5ヶ月間）

（2021年5月1日～2021年9月30日）

2021年9月期より決算期（事業年度の末日）を変更したことに伴い5ヶ月間の変則決算となるため、前年及び前四半期との比較は行っておりません。

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 2021年9月期 通期 実績

売上高、営業利益とも予想を上回り、11月11日付で業績修正を開示

(単位:百万円)	21/4期	21/9期 [※]		達成率
	実績	2021年 8月13日公表予想	実績	
売上高	8,333	3,500	3,759	107.4%
営業利益	340	200	273	136.5%

※ 2021年9月期は決算期変更に伴う5ヶ月間の変則決算。

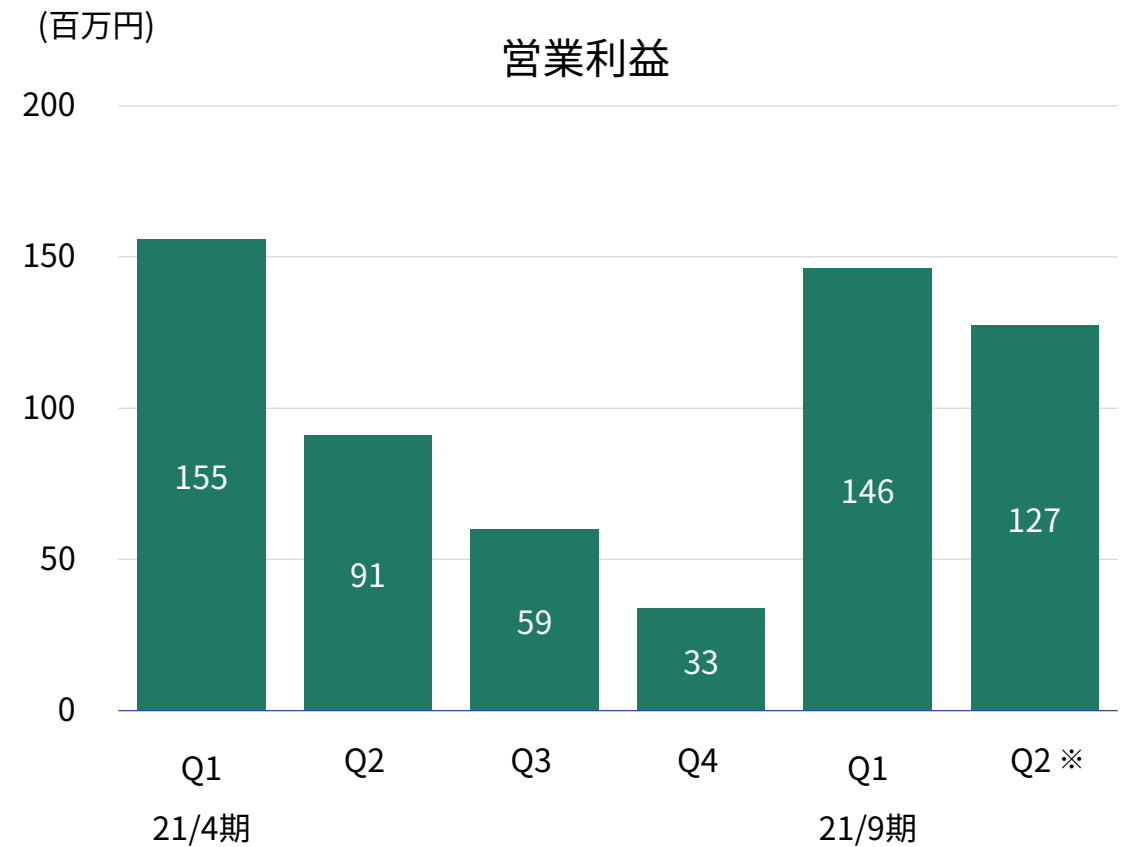
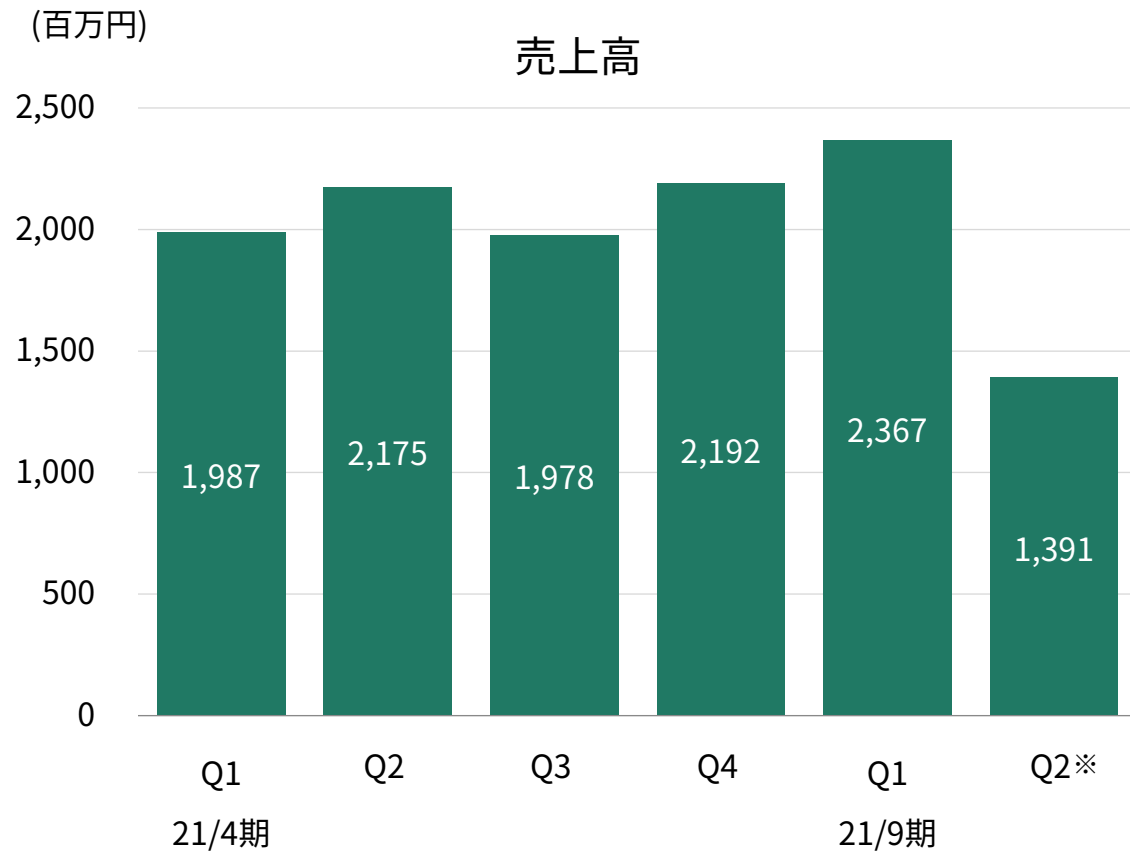
ハイアス・アンド・カンパニー(株) 連結業績 P/L (四半期)

事業及びグループ再編に目処

(単位:百万円)	21/4期				21/9期	
	Q1 2020年5-7月	Q2 2020年8-10月	Q3 2020年11月- 2021年1月	Q4 2021年2-4月	Q1 2021年5-7月	Q2 2021年8-9月*
売上高	1,987	2,175	1,978	2,192	2,367	1,391
営業利益	155	91	59	33	146	127

* 2021年9月期は決算期変更に伴う5ヶ月間の変則決算のため、当第2四半期は2021年8月1日～2021年9月30日(2ヶ月間)の実績。

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 業績推移



* 2021年9月期は決算期変更に伴う5ヶ月間の変則決算のため、当第2四半期は2021年8月1日～2021年9月30日(2ヶ月間)の実績。

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 改善状況について

・特設注意市場銘柄に指定（2020年11月27日）

内部管理体制の改善が必要

・改善状況

2021年7月29日：経営体制を刷新、監査等委員会設置会社に移行

2021年9月17日：改善計画・状況報告書を公表
改善計画に則って内部管理体制の整備・運用を実行中

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 連結業績 B/S

(単位:百万円)		2021年4月末	2021年9月末	増減額	増減要因
流動資産		2,549	4,230	+1,680	・(株)くふうカンパニーからの第三者割当増資の払込等により、現金及び預金が1,556百万円増加
(現金及び預金)		1,463	3,020	+1,556	
固定資産		1,226	1,261	+34	
資産		3,776	5,491	+1,715	
負債		3,135	3,263	+127	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金及び長期借入金が687百万円減少 ・(株)くふうカンパニーからの第三者割当増資の払込等により、資本金が961百万円、資本剰余金が942百万円増加 ・収益認識会計基準の適用等により、前受金が916百万円増加、利益剰余金が359百万円減少
(短期借入金及び長期借入金)		1,655	967	△687	
(前受金)		341	1,258	+916	
純資産		640	2,227	+1,587	
(資本金)		433	1,394	+961	
(資本剰余金)		358	1,301	+942	
(利益剰余金)		53	△305	△359	
負債及び純資産		3,776	5,491	+1,715	

※ () 記載している項目の金額は内書を表示。

ハイアス・アンド・カンパニー(株) 2022年9月期 通期 見通し

売上高は80億円、営業利益は6億円を見込む

(単位:百万円)	21/4期	21/9期 [※]	22/9期
	実績	実績 (5か月)	業績予想
売上高	8,333	3,759	8,000
営業利益	340	273	600

※ 2021年9月期は決算期変更に伴う5ヶ月間の変則決算。

免責事項

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

=お問合せ=

コーポレート・コミュニケーション部 IR担当

E-mail : ir@kufu.co.jp HP : <https://kufu.co.jp/>